京城日報

（年中無休刊）

本紙定價　一部金五錢　一箇月七十五錢　前金參箇月　六箇月　壹箇年
廣告料　五號活字一行
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
電話番號長六千九番　振替京城三〇〇番

時間表

七月五日夕刊（朝刊併せて八頁）

獨内閣方針踏襲

獨逸新内閣は既にして講和問題以外は前内閣の方針を踏襲す可しと報ぜらる民主黨は新内閣に加はらず一説には新内閣は講和條約調印の爲め過渡的内閣なりと傳へらる（海牙電報）

軍事行動中止勸說

露國に於ける＝英勞働黨大會決議

英國サウスポートに於ける勞働黨大會は政府をして露國に於ける軍事行動を中止せしめんが爲め勞働組合に勸說し彼等をして產業的活動を開始するの態度に出でしめんとするの決議案を九百三十五對一千八百九十三の大多數を以て可決したり又同會議は英帝國に於ける徵兵制度を廢止せしめんが爲め即刻產業的活動を開始すべく勞働組合三角同盟（坑夫、鐵道從業員、運輸勞働者）に勸告するの決議案を通過したり（倫敦電報）

北京政府動搖か　不調印は某國の煽動

總統以下内閣の總辭職を見ん

支那講和委員は第一に講和調印拒絕に依り不利を招き第二に右調印拒絕の罪を講和會議に歸し重大なる不利益を招致せるが支那委員が斯る誤れる方針を執れるは北京政府の訓令に依れるに非ず巴里にて某國委員の煽動に乘せられたる結果なるが如し北京政府は之が爲め大いに動搖し陳外交總長代理の辭表提出に引續き或は再び大總統以下内閣の總辭表提出に至るやも知れずと憂慮されつゝあり（北京電報）

海軍へ勅語を賜ふ

海軍に對し三日左記の勅語を賜はりたり

勅語

曩ニ青島陷落以來我海軍出征部隊ハ與國ト協同シテ敵ノ勢力ヲ掃蕩シ戰局ノ進展ニ應シテ各方面ヲ警戒シ制海權ヲ掌握シテ航運ヲ安全ニシ在外臣民及與國民ノ保護ニ任シ堅忍努力所期ノ目的ヲ達シタリ朕深ク其忠誠勇武ヲ賞ス爾等倍奮闘帝國海軍ノ光輝ヲ發揚セヨ

右勅語御下賜あらせられたるに對し加藤海相は直ちに參内親しく御禮を言上せり（東京特電）

軍器禁輸取消要求

北京政府は愈に外交團の決議せる軍器輸入禁止問題に關し二十五日附外交團に對し之が取消要求書を提出せり（北京電報）

陳總長代理辭職

外交總長代理陳籙氏は三日辭表を提出したるが辭職の原因は支那委員の調印拒絕に關し引責したるものなり（北京電報）

オムスク總司令代官

外務省著オムスク政府は最高總司令官病氣又は死亡の場合は直に其職務を執行せしむる爲め最高總司令官代官の新制度を設け南露總司令官デニキン將軍を現職の儘右代官に任命せり（東京特電）

甚だ忖度に苦しむ

支那委員の意思＝山東問題遷延　秋山青島民政長官談

既電の如く秋山青島民政長官は守備軍高級參謀鈴木新之丞大佐山東鐵道事務官昌谷忠及び小柳事務官の諸氏を隨へ四日午前大連發朝鮮經由東上せるが其談に曰く『巴里に於ける支那講和委員の行動は山東に於ける日支間の交渉上圓滑を缺き幾多の困難を發生せしめたり更に講和條約に調印を拒絕せる事は其の意思の那邊に在るや甚だ忖度に苦む所なり之に依れば支那は獨逸と單獨に講和を締結するか又は戰鬪狀態を繼續するかにあり何れにせよ山東問題の解決は遷延を免れず山東に於ける排日は從來殆んど無警察狀態なるを以て可なり激烈を極めたり元來山東省は人口稠密にして生活困難なると古來支那中部の地にして住民は政治運動を好むの風あり獨逸租借時代に於ても鐵道鑛山の問題に就き紛擾絕ねざりき』と（大連特電）

石井大使參内

歸朝せる駐米大使石井菊次郎子は四日參内外交に關する要件を奏上し辭去後内田外相を訪ひ諸般の報告を爲し且つ協議を爲せり（東京特電）

辭令

四日左記の通り辭令ありたり（東京特電）

大審院判事　佐藤信　退職を命ず

利平統一思ひも寄らず

大動亂惹起か　藤原正文氏談

支那交通銀行顧問藤原正文氏は四日午後七時四十分京奉列車にて來奉少憩の後同十時發朝鮮經由歸東せる氏は語つて曰く『支那現今の狀態は政治經濟兩借款打切りの爲め非常の困難に陷り南北の和平統一等は思ひもよらず不圖すると或は財政上より來る難局の爲め一大動亂を惹起するやも測り難し其時機は斷言する能はざるも決して遠き將來に非ざる可く兎に角日一日非なる現狀にあれば憂慮に堪へざるものあり』と（奉天特電）

防備軍編成替

張巡閱使の部下

張巡閱使の部下にして目下北滿防備のため出動せる軍隊に對し三日其編成を變更し耿玉田氏の旅團を遼防第一旅鄭榮廷氏の混成旅を同第二旅王良臣氏の旅團を同第三旅と命名すべき旨を發表せり（奉天特電）

奉天政務廳長

近く更迭か

奉天政務廳長史記常氏と以前より張巡閱使との間面白からず爲めに再三轉任若くは辭任の噂ありたるが最近氏の辭省せるより其の間張氏は高等審判廳長[illegible]

張巡閱使快癒

久しく病氣引籠り中なりと傳へられたる張巡閱使は病氣全快し事務を見つゝありと（奉天特電）

廿八師長歸奉

第廿八師長は四日京奉線にて歸奉せ[illegible]氏を以て一時兼任せしむ可く任命したるより又復更迭の噂傳はるに至れるが或は近く更迭を見るやも知れずと（奉天特電）

總督下關著

長谷川總督一行は五日午前七時卅分新羅丸にて著關直に上陸山陽ホテルに休憩の後秘關差廻しの汽艇にて春帆樓に入りたるが同夜一泊六日正午門司解纜の備後丸にて神戸に向け出發の豫定なり（下關特電）

長官司令官參列

林關東廳長官、立花軍司令官は四日米國領事館に於ける獨立記念祭式參列の爲め來連同日午後歸任せり（大連特電）

戰跡視察團

兩角三郎少將の率ゆる首山堡一帶の戰跡見學團一行は四日朝下奉遼陽に向へり（奉天特電）

滿鐵副社長

中西滿鐵副社長は五日午後高義丸にて歸任の筈（大連特電）

鐵道工事請負契約變更許可

豫て滿鐵京城管理局より鐵道局に申請中なりし鐵道工事請負契約變更の件は四日附を以て許可され即日より施行さるゝ事となりたるが右の改正は請負業本來の目的を沒却するが如きも暴利を博する事なき代り又多大の損失を免るゝ事となれり改正の結果差し當り京管局が工事の契約をなすべきは清道慶山間の省略道にして一哩廿鎖の長距離あるのみならず最も難工事なれば從つて工事費も多額を要すべく未だ契約せざるも其南口は志岐組其北口は西本健次郎氏多分請負ふ事となるべく又咸北に一二の工區あり是亦近く工事契約を成す由契約は先づ請負者より見積書を提出せしめ京管局に於ては漁銀調査の重要物價及び勞働賃銀の單價を以て豫算を計上し夫れ以内ならば協議の上契約する由にて現在工事中の物にも本契約を適用すべしと

蒙古より歸りて（三）

外山高一氏談

庫倫と云へば日本に於ける東京佛蘭西に於ける巴里等と同樣、蒙古語として代表的な正確なものを研究することが出來る。

庫倫の位置は地圖の上では稍北に偏して居るかの如くに思はれるが民族の分布の上から見ると矢張り蒙古の中心と云ひ得る樣である。

私は研究の餘暇には彼方此方を訪問するのを樂しみにして約三箇月間此處に滯留した。蒙古族と云ふと亞細亞人種の代名詞として扱はれる場合もある位だから其の皮膚の色は

黃色か銅色かだらうと私は想像して居たものだが庫倫に來て見ると實に案外、吾々内地人や朝鮮人に比べると一般にずつと色が白い。殊に子供になると男でも女でも幾らか歐洲人に近いのではないかと思はれる程白くパッチリと涼しい目元をして居る處は誠に可愛らしいものである。體格も隨分立派で女でも身長五尺より低いのは殆んどない、是れは氣候の變化の激しい上に衞生思想が幼稚な所から

自然淘汰の法則に依つて弱い人間が無くなるのかも知れないと思つた。蒙古人も朝鮮人の巾著と同じく一つの袋をぶらさげて居て其の中には嗅ぎ煙草が入つて居る。知人と路上に出會つた時には双方の袋から嗅ぎ煙草を取出し一時互に夫を交換して嗅ぎ合ふのである併しレオンの形式的の挨拶に於ては鼻の近所へ持つて行くに過ぎない。又是が日本人だと直に嗅ぎ

煙草の容器をひねくり廻して是は何處から手にお入れなさつたかなど云ふかも知れないが蒙古人はお世辭は頓と云はないらしい。一體蒙古語には有難うと云ふ意味の言葉はないし物を貰つても或は還つても別にお禮を云はないさうである。次に庫倫には支那人は約一萬人、露西亞人は約一千人位在住して居るが支那人は概ね出稼ぎの積りで單身で來て居るに反し露西亞人は家族を引き伴れ永住の考へを以て來て居るのが多い。夫れで勢力の上から云ふと

少數の露人の方が多數の支那人よりも遙に優勢である露西亞人は既に數十年來蒙古を研究すると云ふことに從事し調査も詳密に出來て居るから自然兩者が親密なる關係を生じて來る譯である。一方蒙古人が日本と云ふものに對して如何なる觀念を持つて居るかと云ふと、チンで

日本なる國があるか私は實に意外に思つたが事實日本なる國を知らない者が多いのである。ないか知らない位だから固より何れの方角にある何んな國だか判らう筈もない、尤も夫は彼等が世界の形勢に對して疎く殊に顯著なからでもある日本人に對してはオロスと呼んでゐるオロスは露國人のロスキーから轉じたもので今日では外國人と云ふ意味になつて居る北部へ行くとヤポンスキーと呼ぶ者もあるが是れは今度の

西伯利出兵で始めて使はれ出した言葉であらう、さて本年三月下旬庫倫出發買賣城に出で國境を越ゑて恰克圖からイルクツクへ行つた上更に黑龍線及び烏蘇里線に依つてハバロフスク、浦鹽を廻り東清鐵道で哈爾賓に歸著した（完）

魚市場狀況

客年中に於ける

大正七年に於ける魚市場集散狀況調査を聞くに市場數卅三箇所總賣揚高數量六百二十一萬一千五百九十三貫、五千一百五十本價額四百二十萬四千九百十六圓にして之れを前年に比較するときは數量に於て六分三里弱を減じ價格四割一分一里強を增加せり斯く數量に於て減少を見たる主なる原因は咸鏡北道にて大正六年には鰊、鯖、明太魚等の漁獲著しく多かりしも大正七年には別に豐漁にあらず從つて同道魚市場の賣揚數量に於て約七十三萬貫の減少を見たるに因る又數量の減少せしに不拘價額の增加したるは一般經濟界の好況に伴れ魚價亦騰貴せしに因るものなり

輕鐵未成線概觀（下）

七線＝一千六百哩に上る

黃海平南線　黃海平南線は農業及び礦業の發達を目的とする朝鮮產業鐵道會社の計畫に係り許可の日より五年以内に完成を期せんとするにあり藤山雷太原田金之祐高山長幸岡村左右松高野濤三和田橋吉谷道濤之助淺田毅一奧田禎太郎渡邊榮太郎氏等之れが發起人たり本線は左の五線に分割さるゝものなり

△沙里院－載寧－海州－四十五哩、工費百八十三萬五千圓

△載寧－安岳－十二哩、工費三十一萬八千圓

△中和－遂安－四十八哩、工費百四十四萬九千圓

△鎭南浦－廣梁灣－龍岡－十七哩、工費五十四萬一千圓

△孟中里－温井里間四十六哩、工費百八十四萬五千圓

而して各線により吸收し得らるべき貨物の豫想年額は大約三十萬噸を下らざるべし地方主要產物年額左の如し

米	五八六、二〇九石
麥	一、一三六、七七〇石
粟	九六五、三二五石
大豆	五一七、九〇四石
綿	七三四三、七五一斤

譯　鑛產額　[illegible]
水產物　[illegible]

咸興厚州線　咸興厚州線は大川平三郎田中榮八郎澁澤敬三下郷傳平小西安兵衛尾高次郎熊澤一衞渡邊嘉吉岡部房次郎北門與市伊藤長次郎藤田好三郎津田毅雄長谷川太郎吉氏等の發起に係る朝鮮森林鐵道株式會社（資本金一千萬圓）の計畫線にして伐木植林及製材事業の經營並に一般貨客運輸の目的を以て咸南咸興より長津及南社を經て鴨綠江岸厚州古邑に至る百二十二哩間の廣軌式輕便鐵道なり尚將來滿浦鎭方面にも延長の計畫あり所在沿線鑛物及森林に富むのみならず向後本線に依て日本海と滿洲中部地方とを連絡する重要經濟線として注目され居れり

辭令

今回左記の如く辭令ありたり

朝鮮總督府技手　鈴木恭介
任朝鮮總督府技師　叙高等官七等（六月二十六日附）

朝鮮總督府遞信技手　鈴木貞一郎
任朝鮮總督府遞信技師　叙高等官七等（同）

朝鮮總督府遞信技手　河田市也
手當七位勳七等
任朝鮮總督府遞信技師　叙高等官七等（同）

朝鮮總督府技手　鏡保之助
兼任朝鮮總督府技師　叙高等官七等（六月二十八日附）

朝鮮總督府技師　鈴木恭介
農商工部山林課勤務ヲ命ス（二十六日附）

朝鮮總督府遞信技師　鈴木貞一郎
朝鮮總督府技師　河田市也
農商工部農務課勤務ヲ命ス（二十八日附）

朝鮮總督府技師　鏡保之助
八級俸下賜（六月二十六日附）

公州地方法院忠州支廳判事　奧田勝太郎
咸興地方法院北青支廳判事　木村競次郎
豫審掛ヲ命ス（七月一日附）

大邱地方法院判事　多田吉鐘
公州地方法院江景支廳判事　鄭樂憲
五級俸下賜（七月三日附）

公州地方法院洪城支廳判事　尹台鎭（同）

仁川公立商業專修學校敎諭　川上準一
仁川公立商業專修學校長を命す（四日附）

內地通漁團體

客年來鮮せる

大正七年末に於ける內地人通漁團體を調查するに團體數十四、團體員七千百四十八人補金一萬四百六十六圓、積立金六千八百四十圓にして之に對する府縣補助額は一萬二千百圓なり今之を團體の位置を地方別に見るときは香川縣三、佐賀縣一、山口縣一、岡山縣三、長崎縣二、鹿兒島縣一、三重縣一、兵庫縣一にして根據地別に區別せば全羅南道に屬する分高興郡蓬萊面東內里一、同郡同面新里一、同郡同面東內里及び麗水郡汝自島一、莞島郡青山島一、慶尚南道に屬する釜山、方魚津及び入佐村二、大邊三、方魚津一、釜山牧の島一、釜山一、細蒲一、統營郡統營面外八面、國領、邊郡東海面及び昌原郡鎭海面鎭[illegible]

朝鮮商業決算

朝鮮商業銀行の今期營業成績を聞くに預金總額七百萬七千圓餘にして前年同期に比すれば預金に二百七十一萬七千圓貸出に三百三十一萬九千圓を增加し未經過割引料四萬千百五圓、合計十一萬三百九十八圓の益金を後期に繰越し諸償却費一萬九千七百六十五圓を控除せる益金六萬四千二百九十八圓三十五錢を示し前期繰越金を加ふれば今期純益金七萬九千八百九十九圓四十[illegible]にして所なれば分配案は目下其筋へ認可申請中なりと而して定時株主總會は來る十九日開會に決定し利益配當は前期同樣年九朱なるべしと

夏秋理事招宴

滯城中の夏秋東拓理事は五日夜東洋拓殖會社の招待にて千代本に又六日夜は在鮮同期生にて花月に招待せり

人事消息

○通信課長兼務　遞信局監理課長矢野義二郎氏は島田氏外遊中通信課長を兼務する事となれり

▲佐々木慶南道長官　五六兩日釜山滯在敎育視察をなす筈（釜山特電）

▲カロル、ピースカブロック氏（第三高等學校敎授）五日朝釜山上陸十時急行にて北行（釜山特電）

▲デロン氏（米國宣敎師）夫人病氣の爲め三ヶ月日本に靜養の目的を以て四日夜入城朝鮮ホテルに滯在中七日頃渡日すべし

▲山縣辰吉氏（總監令息）四日夜發安東縣へ

▲久保要藏氏（滿鐵京管局長）長谷川總督を釜山に見送り五日朝歸社

▲谷多喜磨氏（江原道第一部長）五日午前八時自動車にて出發赴任したるが小原長官を始め農商工部、內務部等の課長技師等見送り盛んなりき

京畿繭共同販賣

京畿道に到著したる各郡の繭共同販賣成績左の如し

▲楊平郡（六月三十日）石數二百二石又普特等百三十四圓、一等百二十七圓十錢、二等百二十三圓、三等百十六圓五十錢、交配白繭特等百三十一圓五十錢、一等百二十九圓二十錢、二等百二十四圓六十錢、三等百九圓五十錢

▲驪州郡（七月一日）石數百三十石又普特等百二十七圓、一等百十五圓二等百十二圓、三等百五圓、交配白繭一等百十圓二等百五圓三等九十八圓

▲廣州郡（七月三日）石數百五十石又普特等百三十七圓、一等百三十二圓五十錢、三等百十八圓五十錢、交配黃繭二等百十六圓、三等百七圓六十錢、交配白繭一等百三十一圓二等百二十圓、三等百十三圓

▲開城郡（七月三日）石數百三石、又普特等百四十六圓五十錢、一等百四十三圓十錢、二等百三十七圓十錢三等百十八圓十錢、黃繭百二十圓七十錢、白繭一等百三十一圓六十錢、二等百二十六圓八十錢、三等九十九圓五十錢

關釜電線沈設

新東京京城二番線を構成すべき釜山下關間の海底電信線沈設は遞信省作業船の手により三十日より敷設に著手せしも濃霧並に海上風波のため未だ沈設を終らず作業船は目下六連島附近に避難し居れり天候回復次第更に沈設を續くべきがその全通期は十日頃となるべし

東拓增資前途

東拓株の暴騰は株界好調の外增資氣構へにあるべしとの說もあれど聞く所によれば同社の增資問題は株主總會に於て株主の希望ありたるも此際四千萬圓に倍增する事には異議なき模樣なれど未だ重役會議に正式に上程されず旁目下の處その具體化の時期は豫測し難きものゝ如し

東拓理事分擔

東拓本社に於る理事の分擔は最近左の如く決定せりと

理事　夏秋十郎　金融部長
理事　人見次郎　總務部長兼事業部長

漢城銀行成績

漢城銀行本年上半期營業成績を聞くに預金八百八十萬圓貸出九百六十萬圓にして之れを前期に比すれば預金百六十萬圓（三割）貸出二百萬圓（三割）を增加し純益金十二萬三千七百圓に達し前期より五千七百圓を增加せり利益分配案は未だ決定し居らざるも總會は本月二十二日同行樓上に於て開催すべく總會提案は平壤大和町及び西大門派出所を出張所に改むる件のみにして利益配當は前期同樣年八分なるべしと

殖銀の異動

四日殖產銀行に於て經理課長並に支店長に左の如く異動ありたり

本店經理課長　釜山支店長　森本市郎
釜山支店長　馬山支店長　濱田隆三
馬山支店長　井邑支店長　澁井定
井邑支店長　鳥致院支店長　兵頭泰
鳥致院支店長　麗水支店長　岩倉守男
麗水支店長　普通營業課　鑑川濟吉

山田少將來城

長江一帶の視察を終り六日午前六時五十五分龍山驛著列車にて來城すべき陸軍無線電信調査委員長山田陸槌少將は著後直ちに内野旅團長官舍に入り朝食を共にし認めたる後目下建設工事中の軍用無線電信狀況を精察すべく猶同氏は九日朝まで朝鮮ホテルに滯在し石井英橘少將帶同歸京す

秋山長官通過

青島民政長官秋山雅之介博士は山東問題に關し政府と打合せ用件を帶び上京の途隨員四名を從へ安奉線經由五日夜京城を通過す

軍司令官設宴

宇都宮軍司令官は六日朝入城すべき山田陸槌少將の爲め七日夜六時より官邸に於て歡迎の晩餐會を開催すべしと

八面鋒

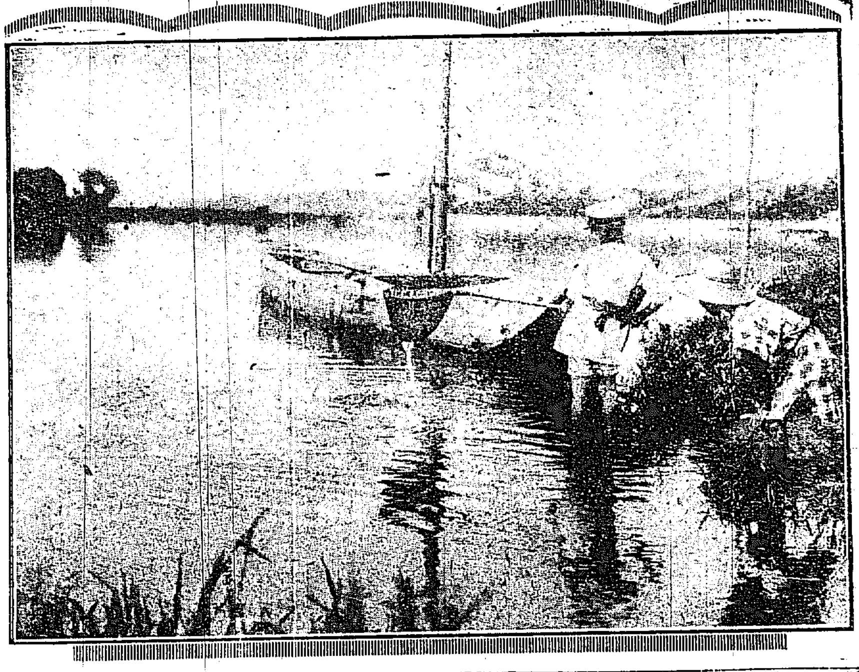
◆戰後の歐洲新地圖と云ふ者を見る其やゝこしき事限りなし
◆露國は茲に十餘個に分割せられ新興の血若勇家の兩族現れ
◆墺匈は分離して敗滅せんとせし羅馬尼が却つて擴大せらる
◆其他群小の諸國紛々として鬩興す何としても唯では不濟可
◆其狀恰も戰前の巴爾幹に似たり之で世界太平ならば目出度
◆水を盛りたる數個の器を英米佛の柵の上に並べたるに等し
◆柵が少しく動けば各器の水は動搖せむ遂には破壞する者有
◆群雄割據も群小割據も要するに同一結果で群小割據は危
◆危い哉中歐の天地紛々たる哉中歐の群小東世界は平和來か
◆英米佛の神聖同盟も可ならん百年前に普魯西が佛蘭西に對
◆百年前の佛國に恩を賣る可
◆背重なる要求を爲し頗る強硬の態度を執りし露西亞は
◆如何なる發展を試んとするか交通自在の米の外交こそ見物
◆大戰を機會に歐洲に足場を得出張所を開設せる米國は今後
◆獨逸の滅亡は英を歐洲の獨舞臺に立しむる者米の忍びざる處
◆英佛の現實主義は遂に米の理想主義と衝突せん米も苦心を存
◆獨逸漸く亂れんとし政府顚覆の陰謀現はれ軍出人等逃亡すと
◆而も動亂の主體が軍人派なりと傳へらるるに於て其猛烈を憶
◆軍人の惡夢は獨を救ふと云ふよりも調印派に對する面當か
◆貧田振過不名譽の講和よりも寧ろ名譽の死を擇むと豪語し
◆獨劍鐔亦大兵を擁して過激軍と相連絡し時機の到來を窺ふ
◆其間に乘ぜんとする過激派の活躍も猛烈を極むるが如し
◆獨逸愈々大に亂れて聯合國は漸く獨文に印丈は捺させしも
◆實行は益々問題たらんとす
◆支那の調印拒絕は責任の途結局聯合各國より執達吏派遣か
◆支那使節は[illegible]

直輸入品着
○耐久力無比使用輕快
○爲然需用を喚起せり
アルミニユーム匙形ペン
英國ニユージランド　ヒース會社製
第五回契約品荷著低廉
應需需同業者各位へは特價
鎭南浦三和町
富田紙文具店
電話三六番　振替一〇八八

確實有望　名古屋絹絲紡績株
◎資本金五拾萬圓（壹株に付拾貳圓五十錢拂込）
◎本社　名古屋中區南大津町二ノ三
◎工場　名古屋市外千種町
◎賣値金拾八圓也（金拾貳圓五十錢拂込濟）
手附金拾株に付金五拾圓也
社長　吉田禄藏（名古屋倉庫會社重役）
取締役　井上藤七（東京各會社重役）
取締役　柴田齊（名古屋紡績會社重役）
取締役　後藤清三郎（名古屋實業家）
取締役　牟谷高晴（名古屋實業家）
取締役　木村青助（名古屋實業家）
技師　石黒桑之亟（紡績技術家）
監査役　木村昌三郎（名古屋實業家）
監査役　齋藤享一（岐阜實業家）
相談役　阪田實（東京各會社重役）
相談役　山田麟介（横濱生絲貿易）
◎同社は全國知名實業家大株主となり創立なしたるものにて内容堅實なり此の紡設會社は黃金時代に逢ひ設時偶々戰亂中にて紡定せし機械は輸入なく困難の處幸に同社は大正八年十月には新紡機械輸入せらるゝと共に製造能率今日の二倍以上に達すべく依つて此益當も三割をこさなしとの趣き重役の言明せらる次第に有之候當社開業第一期なるにも拘らず年一割の配當に御座候次に增資の計畫も有之有望にして各資產家の投資を求む
◎弊店勉强取扱ひ居候間御用命願度候也
◎株數に限り有之候間至急電信又は電話にて御註文あれ
◎代金は荷爲替付送附可仕候間御地銀行御通知願度御指定銀行へ送附可仕候に付代金引換に株券御受取あれ
◎同社內容說明書無代進呈す
名古屋市鶴重町四丁目（南伊勢町上る）
合資會社大津株式店
大津清重商店
電話本局一二二一番　振替名古屋（オツ）

長雨のあと

(川狩や四五日降りて怒る水) 漱石



社會事業は大阪
行届いた市營住宅

家賃は六疊と三疊と二疊で五圓五十錢

住宅問題の喧しい折から、大阪方面の社會事業を視察して歸つた某氏の談を紹介しよう 社會事業は總ての點に於て大阪は東京より進歩して居る、櫻之宮、西野田、築港、今宮等には市の住宅地が出來て居る、其の中には普通の貸家と共同宿泊所があり其の他

▲公設浴場 公設市場、職業紹介所、簡易食堂等の設備が市中の所々にあつて甚だ便利に出來上がつてゐる、築港附近の市營住宅は平屋建四十八戸、二階建八十二戸、總數百七十戸建坪千二百三十坪である。

▲工事費は二十一萬九千六百五十二圓を要したと云ふ、又今宮の方面は平屋四十二戸、二階建八十戸此總數二百である總坪九百七十七坪工費が十七萬八千二百圓、家賃が六疊、三疊、二疊で五圓五十錢と云ふ格安である。二階建は二つに分けて二組の家庭が住むのがあり、

▲單獨に住むのがある、階上は六、三疊で三圓、階下は六、二、三疊四圓五十錢であるから五六十錢になる、之を東京に比較すると十二三四錢位に相當する右は一疊當り三十錢から[illegible]阪の他の住宅に住んでゐる細民が一疊一圓當りに住んで居る點から見れば如何に是等の設備が

行届いて居るかゞ判る

右の平家には門構へがあり且越の松がゐるから人は中流以上の人の住宅だらうと思ふ程である

明治神宮 上棟祭
當日の次第

代々木なる明治神宮上棟祭は既報の如く來十二日執行せらる、ここに決定したるが當日の祭式次第は早旦御敷地內祭場の四隅に齋竹を立て注連を引渡し正面に神籬を安き四面左右に燈を立て

▲御棟木 に布綱を懸け其の先へ飾り注連を張り、床次副總裁下奉仕員(衣服)技師技手(直衣)木工(素襖)祭員(狩服)樂人(直衣)にて參集所七時五十分參集同八時諸員各祭祀所定の位置に著座するや棟木を棟上に安き齋主は當撥畢一同起立敬禮中に

▲降の 式を行ひ奏樂裡に神饌を供し畢つて齋主恭しく祝詞を奏し次いで技師技手木工を率ゐて神前の座に著き祭員奉仕員は御棟木を奉揚し技手木工を率ゐて之を打ち終つて圓餅及錢を投じて莊嚴なる上棟式を行ひ畢つて技師以下

統計に現はれた 內鮮同化の家庭
年毎に增加の傾向 入婿も可なり有る

大正七年末其筋の調査によると內地人で朝鮮婦人を娶つた者は元年に五十六名、二年に四十二名、三年に二十九名、四年に三十五名、五年に五十九名、六年に五十四名、七年に四十二名で合計數を見る事が出來ないが元年以來の平均數は四十五名強に當つて居る。又之れと反對に朝鮮人で內地婦人を娶つた者は元年に五十七名、二年に七十名、三年に四十八名、四年に三十八名、五年に八十五名、六年に六十二名、七年も六十二名で其平均數は六十名強に當る。又內地人で鮮人の入婿になつた者は元年以前が不明であるから元年以來十三名で朝鮮人で內地人の家に入婿になつた者は十一名であるが此の內鮮人の結婚は年々增加の傾向を示して居る

鐵道旅館收入

大正七年度に於ける南滿鐵京城管理局の經營に係る旅館、食堂車、喫[illegible]八、長安寺六十四人にして其收入は京城十九萬四百九十圓、釜山七千六十二圓、金剛山七千六[illegible]に對し收入一萬八百二十圓な[illegible]十圓の增加なりと[illegible]

今年は雨が多い
五日は坪當り四斗四升 悲觀される明日の天候

京城地方 も愈々雨期に這入つて兩三日來陰鬱な天候を續け時に俄雨を帶びた降雨を見せて居たが五日は朝から細雨を降らし恰も內地の梅雨期の樣な濕々した天氣となつた北東の微風が吹いて生ぬるい暑さを感ぜしめ空氣の濕度が非常に高い樣である元來京城地方の雨期は數年間の

統計に現 れた所を以てすると七月の三日から八月の廿四日迄となつて居る即ち先づ七月の上旬から八月の下旬迄は概して昨今の如く陰濕な天氣が續くと見ても好い譯である然も今年は例年に比し五、六月の交から雨量が多い樣に思へる又六月等は雨の一晝夜量としては十二年間の

記錄を破 つた事さへもあつた位である五日の雨に就て京城測候所の調査した所を聞くと京城附近では午前八時三十四分頃から細雨を質し降つたり歇んだりの狀態に在つたが九時十五分頃に至つて本降りとなり正午迄に二十四粍二の降雨量を示した卽ち一坪面に換算すると四斗四升二合八勺強になる譯である尙ほ六日は矢張り斯くの如き狀態を持續し多分降雨があるだらうと言ふことである

米國大使館祝宴

米國大使館にては四日同國獨立記念祭當日に就き各國大公使日本顯官多數を招き祝宴を張れり(東京特電)

丁種勤務演習 應召者へ注意

本年度第二十師團管內勤務演習應召者中特科隊に屬するものは教育部隊の關係上總て朝鮮軍及び第十九師團下各隊へ例へば騎兵科砲兵科の者は羅南に重砲兵科のものは馬山の鎭海灣重砲兵大隊に工兵科のものは會寧に召集せらる事となつたが右の中丁種勤務演習に召集せらる、將[illegible]

寄生蟲の持主
七百名の生徒中六割は
木浦小學校の糞便檢査 國民保健上の一問題

木浦府立病院長河海野醫學士は過般來木浦小學校に資料蒐集を依頼し學校生徒につき寄生蟲の有無を調査中なりしが今

その結果 を聞くに小學校全兒童數七百五十八名の中七十四名は檢查を受けざりしが右の外受檢者六百八十四名中寄生蟲ある者四百五十二名寄生蟲無き者二百三十二名にして百分比を取れば實に六割六分強の兒童は寄生蟲の所有者にて

女學校側 は全生徒數四十三名の中檢査を受けざりし者五名あり受檢者三十八名中寄生蟲ある者二十四名寄生蟲なき者十四名にして百分比を取れば亦六割三分強の生徒は寄生蟲所有者にして決して良好なる成績に非ず殊に小學校は學級に依りては八割に達するものさへあり全く保健上の一問題にして更に之れを

寄生蟲別 にする時は

▲十二指腸蟲七十四女四▲十二指腸蟲蛔蟲十八女三▲十二指腸蟲蛔蟲十八女一▲十二指腸蟲鞭蟲ストロンギロイデス一女無▲蛔蟲百二十九女五▲蛔蟲九十六女九▲條蟲一女無▲チストマ五女無▲ストロンギロイデス二女無▲ストロン蛔蟲一女無▲チストマ蛔蟲二女無(右の中女とあるは女學校)

十二指腸 蟲の所有者は六百八十四名の小學兒童中百四十九名に上り三十八名の女學生中八名の成績を得所有者五名を算し條蟲所有者[illegible]へ見るに至つては國民衛生上頗る寒心に堪へざる事と云ふべく教育家並に父兄は一考を要すべし

神靈遷宮式
春川神社にて

江原道首春川の春川神社は豫て[illegible]の所先頃落成し同神社に遷座式を行ふ[illegible]べき神靈は愈々[illegible]

本座に 復し齋主拜禮の後祭員一同神拜床次副總裁の拜禮奉仕員の列に[illegible]の拜禮あり次で奏樂中に撤饌昇神の式を行ひ同十一時終了の豫定なり(東京)

司る內地に赴きたる[illegible]して伊勢大廟より御分靈を奉戴したるを[illegible]んな大正遷宮式を行ふこと[illegible]し京城神社より谷村宮司[illegible]二人倂八三名を聘して祭典を[illegible]ふここ[illegible]は自動車にて五日午前十時[illegible]川に赴きたり一行の者は元[illegible]長官以下多數の官民何れも大禮服にて列し雨中にも拘らず五日夜[illegible]執行したりき

南鮮一帶 豪雨
續けば大變

夜の演習の爲には第二十師團管內にて行はれ敢て羅南等の遠隔地に行くを要せない獨丁種勤務演習施行の時期は多分十月頃にならうとの事である

本月[illegible]今南鮮一帶は豪雨にて各所に出水あり工事中の京釜線改良線は四日夜半多少の影響を受けたらしく差したる故障もなく目下處列車運轉には支障を生ぜざるも此の一兩日豪雨續かば各所に被害を豫想からざるべし

彈藥庫爆發
排課の仕業か

二日夜半より[illegible]

自爆と判明

[illegible]

水中の活劇
強盜大同江にて刑事と格鬪

[illegible]南大同郡[illegible]六箇所に強盜押し入り金錢を强奪したる犯人ある旨同署にて[illegible]

山陽線汽車不通
關釜連絡船當分缺航か
壹岐對馬兩船は臨時糸崎宮島間聯絡に從事

前日來の降雨の爲山陽線三原本郷間鐵道破壞し汽車不通となりし爲關釜連絡船は[illegible]に從事する事となり從つて五日夜釜山入港及び六日朝發の關釜聯絡船は取消されたるが當分此狀態を繼續するやも知れず

開通期不明

豪雨の爲め山陽線廣島、己斐間三原本鄕間鐵道線路浸水し各所に破損を生じたる爲め列車不通となれり目下多數の人夫を派し極力復舊に努めつゝあるが目下の處開通期不明なり(下關特電)

下關の豪雨
被害夥し

七月一日以來下關附近豪雨の爲め下關市內壇ノ浦斷崖崩壞崖下に在りし人家數棟を押し潰したるも人畜には損害なかりしが尚此の外三日より四日にかけて大正通り附近及び下關分監向ふ側堤防等も破損し其他櫻山小學校前松の木倒るゝ等被害少からざる見込みなり(下關電話)

山口地方も

山口地方にては四日午前十時迄の降雨量六十八粍に達し各河川増水し橋梁道路の破壞せるもの夥しく鐵道線路も二ヶ所破損せり

近々賣出す記念繪葉書

[illegible] 鏑木清方氏筆

洋畫『收穫』 南薫造氏筆

列車大延着

五日午前九時廿分南大門驛着の釜山發直通列車は二時間四十分以上延着したるは四日午後八時五分南大門發大邱行の貨物列車が五日朝大田新灘津間で機關車に故障を生じ立往生した爲である

聯絡船缺航

五日夜釜山入港の筈なる聯絡船は配船變更により缺航することゝなり六日朝京城着の郵便物は不着なり

海岡畫伯探勝

朝鮮研究會長海岡金圭鎭氏は金剛山探勝の爲め六日朝出發金剛山に向ふこと〻なれるが約一箇月の豫定にて限なく金剛の勝を探り八月五日頃金剛山長安寺に於て露營展覽會を開催する計畫にして平壤の畫家虛湖亭居士も同行の筈なりと

龍山素人相撲
三角地の賑ひ

古例に依り龍山素人角力有志は龍山三角地の空地に土俵を設らへ四日夜より相撲を開始したるが孰も血氣旺んな靑年とて其の角力振も元氣潑剌として少しも妥協を許さず勝負眞に迫りて思はず見物の手に汗を握らしむるものあり中に眞黑氣の力士ありて盛んに茶目振りを發揮し無精に見物を喜ばしつゝあるが是を見むとて群集は四本柱を十重に圍みてやんやと喝采を浴せ居れり今後は更に盛況を極むべく爲めに三角地一帶に夜店開かれ雜鬧を呈し居り夕涼みがてらの見物には又一興なるべし

金剛山見物記(二)
要領を得ぬ外人の表情

○自動車は溪流に沿ふて、或は山腹を、ひた走りに走る。朝鮮は初見參の天匪君、すつかり鮮人生活に共鳴を感じて嘆美する、そして奇妙の國へ入つた樣に、何を見ても廻りくどい上方言葉で、質問を連發するのには少なからず恐縮した。厚面師は又悠々たるもの、[illegible]に吊つてあるものは何を意味してゐるだらうかとか、鮮人の凡てが[illegible]を一寸横ちよに戴いて居るのは粹氣なものだとか、盛んに饒舌を弄する。

同乘の外人、相手が無いので無聊に苦しんでか、後向になつて籠入りの杏子をつまみ出して食へと云ふ。二人が遠慮して一寸一つ取ると、[illegible]眼をしやくつて[illegible]兩手で一ぱい摑むと、膝の上に置いたら、[illegible]得ぬ樣な表情を顏面に漂はしてゐた。

○長箭里を過ぎて三十分、曲折の山路を登進すれば突如水現はれて、兩岸に見上る許りの絶壁が削立し、碧流に臨んで其威大を誇つて居る具合、一頭松を見せて、深い淵に其姿態を映じてゐる具合、こちらの岸からあちらの岸に、一條の高い橋が懸つてゐる具合、豫期せなかつた場面だけに一層の興趣をそへつて、自動車の乘具合までが氣持ちがよい。

○凸凹の道に搖まされた病後の身も、御陰で蘇生つた樣だ。此分なら天下の絶勝金剛山も、自由自在に飼れ廻る事が出來さうだ。(希蓮)

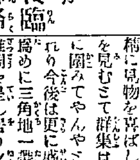
龍山十日會

龍山官民の主なる人々にて組織せる十日會は例會を兼大戰記念平和克復表祝の爲め來る十日漢江に於て盛大なる舟遊會を催すべく目下役員に於て協議中なるが當日若し雨天ならば更に會場を選び擧行すべしと

○日蓮研究會 日蓮研究會は六日午後八時より旭町三丁目護國寺に於て第二回の例會を開き前回に引續き渡邊學師の『開目鈔』の講義あり後安住、高橋兩辯護士の『日蓮聖人の國家觀』に關する講演ある由因に一般有志の參會を歡迎すと

○婦人家族慰安會 總督府會計課關係にては婦人及び家族慰安の爲め四日午後六時より南山の喫茶店を借切り千餘名を招待し茶菓の饗應をなし福引餘興ありて盛會裡に午後十一時三十分散會せり

紹介◇ 蠅滅の好評 東洋賢藥堂製劑合資會社創製の蠅滅は彼の恐るべき傳染病の媒介をなす蠅を驅除するに偉大なる効果あり室内は勿論廊下等に僅少撒布せば不思議に蠅の死滅する事妙なり發賣以來多大の好評を博し賣行盛なり



萬事にテキハキしてゐる淨法寺師團長は馬名を付けるのも單簡で明暸▲日く正馬がツル馴馬がマツにタケ三頭とも死で女中の名を呼ぶやうだ▲三十日熊谷より所澤に歸航中突然發動機より火を發し墜落慘死した飛行中尉岡田五郎氏は龍山野砲兵大隊の第二中隊長岡田東雄大尉の令弟である▲中尉は故の輜重兵監岡田貫一氏の五男で工兵科出身目下軍用無線電信建設の爲め來城中の石井少佐の薫陶を受けた事があるさうな▲其の石井少佐無線電信に受信機を備へ付け始めて受信したのが岡田中尉慘死の報だつたので水を浴びせられたやうに感じ▲令兄岡田大尉は其夜令弟が枕頭に立つた夢を見たさうな

第三回婦人見學團

六日擧行の豫定でありましたが雨天の爲め八日に延期しました申込の方で同日お差閊へのある方は何うか葉書で御通知下さい御通知のなき方は御參加と見ます定員百名で締切ましたが日程變更で多少減員になりませうから申込遲れの方は速にお申込下さい

主催 京城日報社

連絡船上陸客 四日

[illegible]

雨後雲

京城氣溫 [illegible]

西曆千九百十九年七月六日 [illegible]

京城 大阪 合 讀者優待割引券 水戸錢 四十錢 割引料金 廿五錢 京城日報

商業登記公告

[illegible]

京城地方法院

東省實業株式會社 第二期營業報告

(自大正七年十二月一日 至大正八年五月卅一日)

[illegible]

從來の點眼法では不潔い布や指頭で擦るは目の爲に惡いから、ロート目藥は消毒した布と、下圖の樣な新案の點眼器を添へてある
點眼器
定價 徳用大瓶五十錢 小瓶廿錢 中瓶三十錢 全國各藥店に有
本舖 東京 大阪 山田安民藥房

小野專門分工場 京城黃金町一丁目 電話二四三番 ▲弊工場製品は品質本位にして價格も亦最も低廉なり

天幕 雨覆 日覆 製造販賣 並ニテント貸付
矢野テント商會

……六人、釜山六百七十四人新九十人に對し收入八萬五千七百八十九千百六十六圓の增加を示し食一千百五人、金剛山一千三……八千四百四十六、車の客數に於て二千七百四十六……

第五版

長春近事　號したる孟督

我れに一師と五旅の部下あり堂々他の壓迫威嚇に因つて職を退かんやと豪語した孟督軍も省議會では自己の衷情を訴へ發を揚げて哭いたと云ふ事で流石は支那人一流の大芝居を演じたものだ上下を通じて賄されて居る其の孟督軍は元は名も無い一兵卒から身を起しそも文字と云ふでは後にも前にも虎の一字が身に受けられたものであるが近來は引で俗に虎字將軍と云ふ綽名を縄と云ふ文字を覺えて得意がつて居るそうであるから孟督軍は虎より羆の方が似合つて居るから今後は虎の方は參謀長の高士賓中將に讓渡す方が至當だらうとは或人の話である其高一師長も過日孟督軍の召集により熱河趙倜衛より吉林に向つたが何でも孟氏が愈々自己の態度を決する爲めともいはれて居るが先年の獨立宣言當時も自ら陣頭に馬を進めて中央に向つて大見得を切つたので今度も吉林軍の向背を決するのは高師長の胸一つにある只氣に懸るのは長春に在る裴鎭守使で先年も何だか怪しい態度を持したとか何とかで兩來張巡閲使とは裏面には何等かの默契が結ばれて居ると云はれ今回の張孟軋轢に就ても其態度を非常に疑はれて居たが此事を耳にした裴鎭守使自分は孟督軍には多年甚大なる恩顧を受けて居るのであるから孟督軍に對し決して不利なる態度に出るのではないと言明したそうだが不利なる行動を取らないまでも孟督軍を援けて奉天軍を睥睨するだけの覺悟があるか否やは一寸問題である問題と云へば今にも火蓋を切られんとする形勢にあつた奉吉の關係も何うやら小康を保つて居るらしいが此れが何時迄續くかは問題で噂のあつた熱河都統に孟督軍が納まつて仕舞へば決は付くが此儀有耶無耶の裡に過ぎることなれば中央は懷撫調停も一時的再び兩者の紛亂が生ずるは必定である然し過日張作霖の命を受けて孟氏を訪問した吳願中將は兩者の間は既に完全に諒解を得て居ると頻りに辯明して居たそうである

大連まで（下）　郎山生

酒を乘せ、夢を乘せ、現を乘せた我が濟通丸は陰晴定まりなき天候の下に、約九浬の速力を以て西へ西へと走る、滿帆に風を孕ませたる戎克の五十亦百、風のまにまに、浪のまにまに徂徠する何ぞそれ詩趣の横溢せる、暮色蒼然として遂に大連港外の三山島影を見る、此頃より天候轉た險惡、忽ちにして密雲漸く突、忽ちにして紫電閃々、忽ちにして迅雷轟々、忽ちにして驟雨沛然、忽ちにして波浪奔湧、千變萬化する氣象の壯觀は海上でなければ容易に見られない此の壯觀を見んと欲して甲板に上れば人の隻影なし、デッキパーセンジアーの先生達それ如何と見れば、矢張人間並に雨は嫌ひと見えて、十數人の大カバーの下に潜りたる、眞に笑ふに値する、須臾にして雷雨收まり、驟雨歇れ亦元の不得要領の天候に還る、午後八時半大連港外着、檢疫船の來るを待つ、檢疫も無事終了、午後十時は埠頭の棧橋に繫がりて艀を橫着けする事は出來ないと云ふ、まゝよランチの御來迎を待つ

港外の甲板上より見た夜の大連は恰も不夜城の如き壯觀である、幾十の大船巨舶、電光燦として晝の如く輝き、滿街の燈光星の如く瞬いて人は將に夢の世界に遊ばんとしつゝあるであらう、斯くて大連埠頭に上陸したのは午後十時半、乘るに馬車なく、人力車なきを以て電車に搖られて旅館に御輿を据たのは正に午後十一時半なり

聊か旅の疲れを慰めたれども浴を取らず、酒を呼び膳を命じて空腹を滿たせんとす、老野雞山人の氣焰蜿蜒の如きを拜聽すること多時、瓶子茜に倒るゝ事既に六本、今夜の夢、黃海の浪に入らや如何、

山人大連に入ると二年目なりと謂ふ、予は指を屈すれば十年目である、日露開戰以來約五六年放浪生活を續けたる我が懷しの大連は、十年一昔の大進歩である大發展である

水源地涵養　大々的の造林

大田郡北面を貫流せる甲川の水源地山林は非常に荒廢し殊に九則面、區域面、鎭岑面の如きは其の荒廢程も甚だしきを以て七月三日より同二十日迄總督府技手山崎壽一郎氏外一名は水源涵養造林の調査をなすべく出張したるが郡廳よりも技手一名同行調査中なり此計畫は調査の上決定するものにして果して砂防工事の施設をなすべきや否やは不明なるも若し之を實行すると共に蕪岐湖美湖川流域の如き郡廳の許に大々的造林をなすのなりと（大田）

灌漑大改修　二百町を濕す

田都北面（元鎭津）を貫流せる江支流たる甲川の河水を以て灌漑水となせる乙灌溜及び堤堰の改修をなさんと企劃したる事は既報の如くなるが之れに就き六月二十三日より道廳西村技手は同地に出張し目下之れが設計に就き調査中なるが從來の溜堤は鮮人が河川の狀態に依らず徒らに只假的堰止めをなしたる結果降雨出水に際會せば直ちに缺潰し折角の工事も其目的を達する事を得ざりし爲め途らを以て此の改修工事は現在の所より上流約一里位の所に選定したり該改修に依て其水利を得水田となるべき反別は地積の上にあらされ共確的ならざるも百五十町歩乃至二百町歩位にして七月十日頃迄には全部の調査を完了し協議の上設計に着手する者なれば設計の完了は八月中位を要すべき見込なりとは西村技手の語る處なり（大田）

支拂日勵行　（群山の成績良好なり）

群山に於ける官衙代金支拂明日改善の目的を以て群山支拂同盟會の組織せられたるは既報せるが如くなるが六月三十日は支拂同盟會成立後第一回の支拂日にて同會員支拂勵行成績に付同盟事務所に就て聞くに恰も六月三十日は諸和成立祝賀會の前日に當り各町餘興準備に忙殺されたるに拘らず一般集金成績は頗る良好にして未だ同盟會に加入せざる向の一般集金額を通算したる平均約六割の集金成績を得たるものゝ如し（群山）

沈沒船引揚は　不成功に終る

黃海道席島附近に十數年以前沈沒したるオハヨー號（約三千噸）は昨年夏より引揚工事に着手し昨年はボイラー及び鐵板、枕木等にて數萬圓の純益を見たるが本年は江底の砂利に埋沒せられ作業意の如くならず最初計畫の枕木數萬本引揚見込なりしも僅に四五百本にして止り鐵材は相當價格に販賣さるゝ見込なるも作業上種々の故障ありてか近く揚事業を中止する由（鎭南浦）

緬羊の試養

平安南道種苗場にては此程江原道洗浦牧羊場より緬羊五頭を購入し目下試養中なりと（平壤）

百萬尾の鯖　清津近海

本春鯖漁は今日迄に於て約百萬尾五萬圓の漁獲ありしが清津近海は朝鮮中鯖漁の最も盛にして五月末より夥々漁獲あるも盛期は十一月に入りてなり而して本年は六月に入りてから此漁期は十一月に至る五箇月に亘るを以て北上水揚高多大なり而して清津近海は何故斯く漁期が長きかと云ふに晩春より南方の近海を去つて北上する魚群は大體に於て北鮮沿岸を最北端として秋期南方へ遊離するに由る而して目下の相場は一駄二三十圓を唱へ居れり（清津）

容易ならざる苦心　朝紡敷地買收難

一日懇談會にて……

一般釜山商業會議所は朝紡敷地内に於ける係爭地の解決問題を土地調査局に仰ぐ事となりたるは既報の如くなるが花輪書記長の歸來後役員會席上に於て報告したる處によれば土地調査局側にては……長を入城せしめ……より同局に於て書狀を以て依頼しありたる所より過日國分部長の歸國を待ちて……すべく夫々調査を爲しつゝあり……くされたるため未だ具體的……

内地々主と交渉

……の爲め派遣されたる堤委員外一氏は相携へて各地々主を訪問し決を見る運びに至らざりしも氏の歸局と同時に可成早急に解決を見る爲……努力さるべき……

努力は大に謝す

……るを耳にして……全く同氏等の……交渉纏りし頃は……

熱心なる奔走に

……ものあるが如く其效果と……釜山官民有志の……朝紡敷……

敷地追加を要望

……すべき旨を述べ……建設に際し職工宿舍を本……同一地域に建設せざれば……不便不利を感ずるが故に目下の確定せる敷地内には職工宿舍の設置に用ゆべき餘裕なき爲め右の追加要望を已むなくせられたるものなりと之れに對し……讓所側に於て充分の了解を得たるが如し（釜山）

寄書　朝鮮の佛教（上）　朱二浦　黑法師

其の概説　何處の國の何の教學にても、其學派或は教派の盛んであつた時には、其學説が多端に其主張分派の多くあつた歴史を以て居る樣に思はれます、然るに朝鮮佛教にあつては朝鮮に於て新に開かれたる宗派も、或は新なる説、新なる主義教義の提唱せられた跡は少しもない樣であります、然し

羅麗の兩朝 にありては支那に唱へられたる新説は直ちに輸入せられて相當に行はれましたから、多少は見るべきものもあり且相當に盛んであつた樣でありますが、李朝になつてからは——尤も支那自身が既に何の新説を生むこと出來なんだけれども——何物も傳へられて居らざるは勿論、何の新しい運動も起らざりしのみならず、其

排佛政策 は却つて麗末存留の七教乃至九宗をして遂に華嚴と禪の兩宗以外は存續する事を得ざらしむるに至らしめました。而して其禪教兩宗と雖も學修の範圍を局限し解説たるや全く先人の見外に一歩も出づることを得ず、從つて教勢の微々たることは全く驚くの外はありません。しかも禪教兩宗と云ふと雖も、全然禪たりがたく全然教たりがたき

一種變形 の禪敎宗があるのみで、それが麗末に傳へられた濟下の法系によつて僅に保たせられて居るのみであります麗末の禪宗は、同朝棹尾の英傑懶翁惠勤と、太古普愚の兩僧よりて傳へられて居ります。懶翁の法は王師無學、國師智泉、高峰法藏、涵虛己和等の人物が出で朝鮮禪門のため大いに氣勢を揚げましたが、其後繼許もなくざるに至りました。

朝鮮全道 に其法派を擁する朝鮮佛教の法脈は獨り太古普愚の法孫のみであり、而も其七世孫清虛休靜と浮休善修の二俊足を出してよりは、半島全土たゞ此二和尚の法孫のみになりました、其中にても清虛の法孫尤も盛んにして私の巡回した十四本山の住持の法系を見るに、全羅南道の松廣寺と慶尚北道の桐華寺を除く外は、全部

清虛休靜 の法孫であります清虛下四世の法孫に喚惺志安なる者ありて教勢を張り佛法の興隆致しましたが、和尚の法孫非常に榮ねて今日全道の半分以上は和尚の法を傳へて居ります。而して彼の法燈を承嗣せる本山にて何故なるやと知らざれども、寺の規則として同和尚の法系に非ざれば本山住持たることを得ずとか

甚しきに 至つては、本末寺を通じて住持たることを得ずなどいふ規則を有する寺が多くあります。かゝる拘束の下に半氣で居る彼等の佛教が如何に無氣力であるかといふことを知ることが出來ると思ひます。以下二三師々借て朝鮮禪門の如何なる樣子なりしか、一瞥して現代の如く無氣力なる境界にたどりつける道程の幾分なりとも知りたいと思ひます

商況

株式

東京株式　至急電報

銘柄	五日前場大引	前日比較
東株	三三八、四〇〇	一七、五〇〇安
同新	三三三、一〇〇	二〇、九〇〇安
滿鐵	一八七、六〇〇	九、四〇〇安
一新	一五五、四〇〇	一三、九〇〇安
二新	一二〇、〇〇〇	五、〇〇〇安

大阪株式　至急電報

銘柄	五日前場寄付	四日後場比較
大株	三四三、二〇〇	四、八〇〇安
同新	三五五、九〇〇	二、六〇〇安
日郵	二九〇、一〇〇	二、九〇〇安
同新	二三八、六〇〇	三、三〇〇安
商船	一九〇、一〇〇	一、四〇〇安
同新	一三八、六〇〇	一、三〇〇安
鐘紡	三八八、九〇〇	一、一〇〇安
同新	三六七、一〇〇	二、八〇〇安
東紡	二七四、八〇〇	二、三〇〇安
東新	一八八、〇〇〇	二、〇〇〇高
堂米	一六四、〇〇〇	一、〇〇〇安
上取	一五〇、〇〇〇	……

京城現株　標準値段　▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込	時價
仁取	二五、〇〇	一九、七〇〇
朝銀	二〇、〇〇	五一、五〇〇
朝郵	二五、〇〇	四〇、〇〇〇
電興	二五、〇〇	一八、〇〇〇
皮革	二五、〇〇	二七、五〇〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇〇
朝紡	一二、五〇	二一、〇〇〇
朝紙	一二、五〇	二八、〇〇〇
商銀	二五、〇〇	六二、〇〇〇
滿毛	一二、五〇	三二、五〇〇
鮮煙	一二、五〇	二四、〇〇〇
仁倉	(權利)	八、〇〇〇

仁取保合ふ　暫らく持續せん

非常なる人氣を以て連日奔騰を續け居たる仁取株も新甫發會以來米相場の變動激に伴れて出來高激減したるを以て一年平均十萬石を豫想したる採算も其の基礎を危ぶまるゝに至れるものゝ如く纏まり口の賣物あれば昨報の如く買手は百六十圓なれば手放さんとすれば百枚以上なれば買手に於いて五十七八圓以上の高値にては買躊躇の振合あれば賣纏の劃りに商内は多からざるものゝ如し本日の相場も昨日と同じく一服氣味に保合ひ居れるが商内は小口の六十一圓處にて七十枚許りありたる外大口の合せは五十八圓見當にて二百枚の取引を見たり而して斯の如く氣迷ひ狀態を呈し居る事は勿論手數料値上げ發表遲延仲買人の増員未確定等を氣構へ居るならんも手數料値上げは内地の手數料が米價三十五圓五十一錢より三十六圓五十錢迄十一圓、三十六圓五十一錢より三十七圓五十錢迄十一圓、三十七圓五十一錢より三十八圓五十錢迄十一圓六十錢の高率に比すれば目下の三圓は五分一にも當らざる低率なるを以て之れを假りに倍額に値上げするとしても猶ほ内地の二分一に過ぎざれば理由無かるべきに之を總督府に於て許可指令の延引し居るに過ぎざらん又仲買人増員は鮮人の手數料確定し居り希望者四十餘人中より僅かに七名を詮衡する事なれば理想の人物を得らるべく目下各自の身元を嚴密に調査中なりと云へば之れ等の事情を知る者は依然として押目は買はんと覘ひ居る有樣なれば當分強弱睨み合の姿にて保合を持續するならんかと云ふ▲仁川株況　仁川取引株は引續き熱狂相場を出現して百六十圓以上を主張する好況を示し居れるが今は賣物殆ど現はれず過ぐ反の安値に於て百五十六圓の買氣に物分を……

株式風聞錄

近く仁川に設立さるゝ庫會社の權利株爭奪戰が開始されさうな形勢になつた▲何しろ仁川に於ては倉庫が大不足なので穀物出廻りの期などは皆んな穀物と云ふ空家は皆んな穀物と云ふ倉庫になつて了ふさうだ▲それでも足らぬ時は病院に迄持込んで雨露を防ぐやうな有樣だから今度の倉庫會社が一般に歡迎さるゝのも無理は無い▲之れが成立すれば稅關などに高い倉敷を拂つて居る連中も大助かりだしを其の上荷主は預り證を割引して行けば何處の銀行でも非常に便利だ▲これからは野積のままで腐らしたりする心配が無くなるだらう▲京城の株式熱は最近になつたのは極めて最近の事で僅か數年以前までは田中商店一軒のみなりしが今日は各店共相當の商内高を示して居る

砂糖株尚有望

從來選擇的に買上げられつゝあり砂糖株は遂に一齊に大暴騰を演じ砂糖株に集注せられ買人氣は殆ど糖業株の……

本日の商内株

上取五十一圓九十錢にて七十枚▲仁取百五十八圓より六十一圓迄二百七十五枚▲殖銀五十一圓九十錢にて百九十枚▲東京電氣五十七圓にて百五十枚▲滿鐵百七十圓にて三十枚同第一新百四十五圓にて三十枚▲同第二新百八十圓より百六十三圓迄百三十枚▲日糖新八十圓にて二十枚▲東畜二十九圓にて十枚▲大阪窯業十五圓二十五錢より十五圓五十錢にて百五十枚▲東京二十二圓にて二十枚▲紡織二十一圓より八圓にて百枚▲仁倉權利八圓より二十錢處にて二百枚

北濱より一筆

三日　田中生

さて株況は只今砂糖株時代にて各糖株は何れも非常なる勢ひにて御座候右は世界的砂糖の供給不足より糖價の暴騰其の因を爲し各製糖會社の爲に受ける利益は甚大なるものありとの事なれども既に同株に對しては白熱を帶びて居るやうにて危險のやうに申し居り候此次は船ならんかとの噂も野村店などに御座候▲海運界の好況は再演せられつゝある今日なれば新商船などは面白きやう申居り候本日は百四十圓前後を唱へ居り候右新株は拂込みの望みもあるやに御座候▲指定株は本日有之や上向き中候殊に新東引返し一寸上向き候▲鐘紡四百圓を部の話に依れば鐘紡四百圓を……ならんなどと申居り候

仁川倉庫有望

去る三十日證據金の拂込みを了したる仁川倉庫會社は非常の人氣にて其の事業の前途を囑望され居れるが同株は一般公募に附せざりしに關らず之れが分割を希望する者多く同社關係者に就きて其の割讓を迫り居る向あるやにて既に二圓五十錢の證據金に對し六圓乃至六圓五十錢のプレミヤムを付し希望者に分ち居れるもの如く仁川に於ける倉庫缺乏の聲は既に久しきものにして同社の計畫果して豫期の如くならんか裕に三割配當の業績を擧ぐるは至難に非らずと稱られ居れば事業進捗に伴ひ益々人氣を呼ぶに至らんか

ひの六十圓賣物にて確たる商内も行はれざるが兩仲買店の賣りにて百株百五十七圓見當に商內出來せり跡買配の見送りに賣物續出の傾向なり

洲糖なれど人氣する暇なく總ての砂糖株に向つて一齊に突撃し來れり而して世界的に砂糖大需要の兆候の下に濃厚となり各砂糖價値は暴騰を演じたる折從來居所の低かりし丈けに實勢上糖株は尚前途有望と見做されつゝあり

米況

下關期米特電

◆五日前場（雨）好順氣押され

	當限	中限	先限
寄付	三七、八〇	三六、九〇	三六、三〇
高値	……	三五、九〇	三五、五〇
安値	……	三五、七〇	三五、四〇
止め	……	三五、九〇	三五、五〇

仁川期米

五日前場（安保合）

◆第一節　今朝天候大雨降各地入電米著なるも前日大阪の安止めに弱氣筋は氣勢を加へて公定ヤロ〳〵で高値を掴んだ強氣筋の心膽を寒からしめ立會は存外手堅く當限は相變らず出來不申で中限三十八圓三十五錢と僅か九丁安に始め先限三十八圓十錢こ十六丁安に寄付きの五錢と強氣拔込みしも強氣撥想の安値は正米事情の許さぬか強氣筋は好く買ひて十二錢と盛返し十錢揃みを保合ひ十一錢こ引

◆第二節　當限出來不申中限三十五錢より六錢こ追り五錢こ弛み先の九錢より七錢こ保合に引

◆第三節　當限出來不申中三十錢より四錢こ弛み先〻八錢よりヂリ〳〵安の六錢こ引

◆第四節　當限出來不申中三十錢より四錢こ先〻六錢より七錢を保合ひ六錢こ釘付けに引

◆第五節　中限三十四錢寄止め先こ〻七錢より六錢を採み合ひ七錢こ閑散に打止めたり市況は内地安こ閑散にマバラ筋は場面の存外手堅きに嫌氣差し引際手詰め急ぎに六七錢を大採合ひせしが市場振はず強氣筋は飽迄正……

市場雜觀

咋後場は阪地電報延著に氣迷ひ昂揚しつゝ中限の引締りに牽制され先限も三十八圓二十七錢十五圓盛を突破したが引跡大阪三十錢こ安値止めに三十四圓八十錢を割ったが昨日前場は形勢悪化の模樣であつたが別段弱材料の出現した形勢もない併しこの中限の引締りに左右されたのが好調だつたら少しは思ひきつた形勢に乗じて鍋に入られぬ米の筆を押へて居る事には出來ないらしい理想の壓迫は時期が早いのである

五日

◇出來高	八萬三百石
安値	卅八圓十錢
高値	卅八圓二十六錢
寄付	卅八圓二十錢
一節	卅八圓十錢
二節	卅八圓〆八錢
三節	卅八圓〆七錢
四節	卅八圓〆七錢
五節	卅八圓〆六錢
◇公定	
▲帳入値段	
中限	三十八圓五十八石
先限	三十七圓十四錢
帳出來高	七千七十八石

關西地方大洪水

一昨日來京阪地方大洪水の爲汽車の運轉中止となりたる由當地にては未だ詳報なきも天氣豫報の報が如何を重視するに至り天氣其の實行を圖り漸く險惡の兆候が見え居るや米界は一般に楊め蔽ひ居りしに一般人氣は……迫まり來れるもの如し

仁川米豆取引所仲買人　今仲買店

電話二二四番　電略（カクシ）

京城正米市場

雨天の爲め鮮人仲買の出市者少なく朝來食入れ品弗々の賣物なりしが荷主の高張りにより商談の出合ひ困難模樣にて本日は午前中僅かに百六十叺附出しありしのみにて一般見送りの狀態なり前場は地摺並上三十五圓七八十錢平澤三等三十七圓四五十錢への持合ひなり

白米依然持合

白米は阪神其他より弗々電照なきにあらざるも當地精米筋は今尚前約注文可成りに多きを以つて新規引受けを喜ばざるものゝ如く自然割高指値の返電を發し居れる傾きにて内地筋も採算上引合はざるか商談纏まるものなく原料の強硬と俟つて地場賣氣配も依然高値の儘に据り居れり

降雨と鮮商氣構

南鮮地方の一局部には尚用水不足の爲め植附の終了せざる箇所ありしが此數日來の降雨により殆ど全部の終了を見るに至るべく殊に朝鮮にあつては古來六月六日に降雨ある時は其年の稻作は豐年なりとの迷信ありて恰も去三日は舊六月六日に當り當日の雨は各地鮮農の人氣には少なからぬ影響あるが如く此處天候恢復後は多少安心賣りも手放し增加せんかとの觀測もありて鮮商筋中限先安觀への向多し

南大門發著穀物

六月十六日より同月三十日迄の南大門驛發著穀物左記の如くにて之を前月上半月の調査と比較すれば到著の部に於て玄米百九十一噸、籾三百九十八噸、大豆十四噸增加、支那粟八百七十七噸、麥二十三噸の減退にて又發送の分に於て增加せるものは白米の四百六十二噸、粟の四百八十九噸を主なるものこし大豆は五百五十噸の減退を示せり

到著の分　◆玄米六四三噸◆籾四八〇噸◆大豆六八噸◆粟八一三五噸◆麥一五噸◆荏子七噸

發送の分　◆白米八二九噸◆雜穀五五噸◆大豆三一二噸◆粟一二六六噸◆小豆七〇噸◆胡麻九噸◆荏子二三噸◆黍三噸◆蕎麥七噸◆玄米一五〇噸◆碎米五二噸

支那粟上惱み

支那粟は既報の如く近來鮮人間の需要著しく增加せりと雖麥秋を迎へ昨今地方筋の買氣衰ろへつゝある爲め地場小口のマバラ商内あるのみにて人氣は先高見越しに添はず兎角上惱みの風情あり

大豆は閑散

大豆は此處例年商内盛んの時期なるも内地手筋は過般買占め當時の持越荷多く且つ船腹不足の折柄海外積取り捗取らざる模樣にて移出口の買至極閑散にして偶々小口望み筋あるも龍山の十七圓見當は二の足模樣なり

仁川正米市場

保合ひにて市場寂寥の感を呈せるが正米市場は內地の買注文に牽制され人氣強硬を唱へ平三等神力三十八圓三十錢より五十錢見當を買進み又黃海道物にて三十七圓八十錢見當を唱へ居るが最近運賃の引上げを見る至りしも大阪神著の四十圓五十錢見當の買注文ある形勢なれば當更不引合ひと云ひ難く當枯れ時期こしては珍らき活氣ある方にて內地移出に努力しつゝある際現在の鮮米として目先……

釜山正米市場

市場氣迷狀態なるも大體十錢高三等神力三十九圓十錢所にて七十七百叺許り取引ありたり

◆大豆持合（五日釜山電話）

各地米況電報

四日各地正米相場左の如し

釜山三等米	三十八圓九十五錢
仁川三等米	三十八圓

安値には望み難く日々出廻り漸に在米を減じ端境期の悲觀論者多き傾向を示し居れり地摺玄米三十七圓三四十錢見當を買進みつゝあるが內地や滿洲地方の買注文稍續し居れば今一段の高値を豫期され居るが如し

に資暴はれヂリ〳〵押しの〇六錢と弱みしか強氣筋は正米高に㋞㋡因店より弗々買手を振らして強氣の氣勢を示し場面を強化せしめんと努めつゝあるも人氣は兎く賣偏傾で三十八圓臺割れの安値を見るにあらずやこの觀測もあるが兎に角高値を買支へ居る丈却つて弱氣筋の附込處こなるにあらすや

三品

大阪三品特電

五日前場	綿布三銘
七月限	十五圓七十五錢
八月限	五五七、〇〇
九月限	……
十月限	……
十一月限	……
十二月限	五二五、一〇

綿布現物買落す

大阪三品今前場の入電は當限二圓先限六圓安現物白石十先錦十五圓六十錢の移りなりしが三十八圓鐘太四百八十圓綿布三當綿布市況は警戒自重の折柄依然閑散落付狀態を脱せざるのみならず來る十日より本品に對する稅關鑑定價格の引上げもありて品薄の現物に對し採算上大に先物小弱き成行きを示せり延び賣氣を催ふし來れるものゝ如く爲めに氣配も昨午前中より四五圓高の四百四十九圓乃至五十圓を唱ふるに至れり

横濱生糸電報

四日午後零時十五分發同午後二時總督府入電、信州器械上一番格にて本日の見當千三百三十圓上げ足付き始めたるも氣配前日と變りなし

雜報

㊉ 仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　今村覺次郎　電話長三三六番　三九八番

釜山水產狀況

水揚高七百五十九圓、入船數三十四隻△たひ二四圓△あわび三五圓△ひらめ一五圓△はも一五圓△さば四圓△たち三圓△雜貨一〇圓なり終梅雨季なれば三四日前より引續きの降雨の爲め出漁する不能僅かに三十餘隻の入船にして從つて品薄關係の爲め魚價を昂騰せり然れどもサバの八千八百尾の水揚は時候柄こて若干の値下げこなれり（七月四日）

下關前場

朝鮮米（不變）僅かに朝鮮白米二百叺の廻著ありしが産地格別變化なく移りにて市況は氣乘り薄く買人は先張り順氣の良好に先安を氣構へ地方も一寸見送り勞當用のみ賣行に過ぎずして保合也

大豆（保合）長端紋山取合せ四千叺新穀四百八十叺の廻著ありしが還は安値時代に於ける買付品にして目下の賣物あらずされば入津稀薄ながら地方筋は見送りと共に一向振りたる商內行はれず當用小口弗々にして何れも出來値は左の如く未だ保合

●小豆（小豆）其後入津途切れたるが各產地の一向弛まざるより矢張り手持筋安値は手放すものあらずこ雖も高値は買氣進まざるより不相變薄商内なるが元物も二十斗、方引縮り弗々の賣行なりき

●朝鮮白米　四十五圓七八十錢

●同　四十六圓

●同奧地白米四十五圓二三十錢

▼名實空しからず▲　初日七時既に　滿員
日本連續大寫眞　▲水戸黃門漫遊記　全拾壹篇二十二卷の內七卷上場
▲位階返上の卷　▲鮫川渡し場の卷　▲荒瀨騷藏の卷　▲南部家騷動の卷
▲光圀轉百姓の卷　▲箱根關所の卷　▲仙臺の卷　▲孝女お勝仇討の卷
觀覽料特に普通料金
京城本町一　喜樂館　電話五九七番

七月六日より十五日迄　中元大賣出し
御贈答品　半襟帶上、頭飾品、袋物帶〆化粧品
商品券　金壹圓以上何程にても調製
見切品　半襟　手柄　リボン　定價の半額位
平和袋　新考案興味多き御添へ物御買上金壹圓以上進呈仕候
京城本町二丁目　松菊屋小間物店

獸類鳥類　診斷治療　矢野家畜醫院
京城若草町（総務總監部邊）
◎狂犬病豫防注射開始

夏の肌着　クレープ（立縮）
紳士用　シャツ　七拾八錢以上
　同　半ズボン下　七拾八錢以上
　　　絹織製　五圓參拾錢以上
婦人用　ジュバン　壹圓以上
　　　肌着　貳圓以上
　腰卷　八拾錢以上
麻メリヤス　アミシヤツ　小供服　各種取揃申候
京城本町　塚谷洋品店　京城出張店
クレプシャツ　特價　金壹圓

京城太平町二丁目七十三（太平町大通り）
入院隨意　片山內科醫院
電話一九五一番
片山信夫

日本名刀傳　九十七

東京　田邊南龍講演

五郎正宗（廿三）

正宗は父行光より許されたる備州流の湯加減傳授より倚ほ遙に優れた湯加減を案出しました。それは一年十二箇月、いつの月でも差支なく良刀が鍛へられる法であります。湯加減と申すは鐵を鞴から出して、鉄鎚に挾んで床に戰せて、小鎚大鎚でテンカン……テンカン……と打ちまして、程よく冷めた所を刻限を計つて、ジーッと湯の中へ入れますので、此の湯の加減と中に入れます刻限に依つて、鈍刀にもなり、或は刃こぼれが出來る疑ひがあり、或は折れると云ふこともあり、種々の障碍が湧いて來ます。それが湯加減が好く、打ちました鐵を湯に入れる刻限が狂ひませんければ、初めて良刀が出來ます。最も大切なのはテンカン、鎚を入れます此の鎚の打ち方で、何も彼も皆揃はなければ良刀に成りません。それまでは二月八月を以て湯加減をするに好いとしてあつた、正宗は十二箇月いつでも加減を調べることを工夫したのです。打ちました鐵を湯に入れませんで自然に冷ましたのでは何程か鐵が軟かになると申します。それですから、どうしてもジューッと湯の中に入れなければ成らぬのされば、此湯加減は甚だ難しいことでございます、今日ならメートルなどと申すもので計れますから左迄苦心も要りませんが、大昔は僅な呼吸を計つて、加減をしまする、其の蘊奧を究めると云ふのが、是れ容易な技ではございません。所が其頃京都の華頂山智恩院大谷寺にて此度二萬貫の釣鐘が出來上りました、長一丈六尺、徑九尺五寸、厚さ九寸、周圍が二丈八尺五寸、隨分大きなものです、出來は出來ましたが、此の釣鐘を吊す環が出來ません、環ですから太い物では通りません、さうかと云つて細ければ二萬貫もあるものが下つて居りますから環が保ちません。然れども技術の優れたる鍛冶職に鍛せた細い環を以て保たせたいと、非常に苦心いたしました、折角出來ました釣鐘も吊すことが出來ませんで殆ど弱つて居る、大地へ置いては闇を取巻いては甲『立派な釣鐘だが、どうも環が出來ないで釣すことが出來ないとな』乙『惜しいものだな』と話をして居る。正宗が聞きまして、それでは私が鍛つて上げようと、鍛へに鍛へ、打ちに打ちました環は、物の見事に此の大釣鐘を吊すことが出來ました。今更のやうに正宗の非凡の伎倆に、天下の人々は敬服いたしました。名人の仕事は偉いもので、大正の今日、常ほ京の智恩院の大釣鐘を細い環を以て支へて居ります。是正宗の作とあつて、唯今以て多くの人に鑑賞されて居ります。其の後、日本隨一の刀鍛冶と嘗く其の名聲を擧らかせました。暫く行衛知れずの藤兵衛を尋ね出し、之を迎へて、堅固な一家の番頭と致し、後年、是を迎へて一人の娘を儲け、之を『たがね』と名付けました。一家は富み榮へて親にも孝養を盡しました。斯様な譯で正宗の名聲は隆々たるもので、今度の禁裏御番鍛冶のお選みには正宗が當るに極つて居る。乘光なども正宗の半分にも及ばぬと云ふ人の噂。乘光の方では、ナーニ、正宗がと慢じて居る。

江華祝賀會

江華日鮮官民合同の大祝賀會は一日午後二時より公立普通學校に於て開催せられたり先づ江華郡守李鳳鎬氏歐洲大戰の當初より平和克復に至る迄の大要の經過に就て約二時間に渉り述べ終りて四時頃より祝宴に移り談論往の大戰に及び盡くる處なく各自充分の歡を盡して散會せるは午後七時過なりし尚當日の出席者は李郡守野田警察署長を始め約一百名頗る盛會なりし

市街地競賣（羅南）

羅南市街地たる東木町第一司[illegible]競賣は去月二十五日より二十七日に至る三日間娛樂場内に於て道廳より三田一部長其他係員臨席の上執行されたるが三日間の競賣落札地は合計七十九筆此の坪數一萬二千餘坪金額四萬三千五百五十三圓餘にして甚だ好成績なりしと

圍碁會（江華）

江華圍碁同好者倶樂部なる公立小學校長病舍日倶樂部會員は去月二十九日に於て午後九時より圍碁を開せり先づ東西兩軍は川越氏これも集、率ひ源平の形に於て端を開始したるが正午三分一の勝負にて我食を爲し午後一時より愈々激戰となり九時半漸く終了少許の差を以て西軍の勝利となりて散會したるが此日の出席者大天狗小天狗共四十五名盛會裡に散會し尚次會の協議を爲す

京城長谷川町岡冷温泉前
岩田内科・一般外科・産婦人科 病院
從五位勳三等 入院隨意 岩田末彦 （電話一六二〇番）

雨降りには みの ト かさ
龍山三角地（電話六四八番）
金川商會

食卵 種卵 雛 分讓
京城黄金町三ノ二二九
高麗鶉園
照會要三錢

七夕

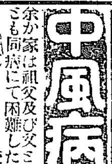
七月七日　舊六月十日　月曜日　▲かのえさる ▲六白 ▲先負 白劍暗（西北）▲みつ

▼六白 ▲兎角はき／＼せざる日
▼七赤 ▲親しみのある同氣相求むる日にして萬事進んで利あり
▼八白 ▲紫氣の日なり或は意外の好きことのあるやも知れず
▼九紫 ▲引立榮のせざる日也
▼一白 ▲資の手に入る如き日にして意外の喜び事あるや知れず
▼二黑 ▲愉快なる得意の日にして正しき事は進んで利ある日也
▼三碧 ▲あまり感心せざる日也
▼四綠 ▲得意なる愉快な日にて思ひ立ちし事は爲すに利あり
▼五黄 ▲熟考を重ねべき日なり

東京三金の靴

ボックス革編上 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス革膝化 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス深ゴム 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢
御注文の節は靴の種類と足袋の文數通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
▼革見本寸法用紙付目錄進呈
▼御就御希望の向は特別割引便宜御相談に應じ申べく候
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六九〇　振替東京一七二三〇

中風病ちうき



余か家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にて悲しき經驗を得た[illegible]
錢添附新聞名記入照會の方に詳細發書無代進呈す
兵庫ゞ明石中町　加古忠兵衛

演藝案内

喜樂館

本町一丁目　電話九九七番　有樂舘改　喜樂館
當る七月四日より平和記念特別大興行
○○○實寫 信州信濃善光寺御開帳
○○○滑稽 旅行中の不思議
○○○米國ヴ社特作品
○人情活劇 汝の罪 全五巻
○松之助劇の眞價は世界的に認められたり○今回佛國より注文に接して製作せられたる日本映畫界代表特作品は本篇あるのみ
水戸黄門漫遊記 全九篇十八巻の内七巻上場
毎月一日十五日土曜日晝夜開館

壽座

京城本町　電話五七八
壽座新築に付愈々最終大興行
東京劇場喜劇會 文福外男女優大一座
五日午後六時開演（十七回目狂言）
▲やるか染 三場
▲花瓶ト土瓶 三場
▲裸一貫 二場
▲反魂香 三場

大正館

日本活動寫眞會社代理店
櫻井町　電話八七三
當七月四日より特別大興行　料金普通
○大喜劇 大阪名所見物 長尺
○曲藝道化揃ひ
『鐡の爪』の姉妹篇世界的連續冒險劇 第三回 七眞珠 第五六篇
二回開場

浪花館

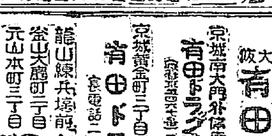
京城明治町　電話二六〇
納涼興行請藝大會
當る七月五日午後六時より開演
▲落語 ▲輕口笑話 ▲落語音曲 ▲筑前琵琶 ▲落語音曲 ▲浪花節 ▲落語義太夫 ▲娘義太夫 ▲相撲甚句 ▲落語歌舞 ▲餘興茶劇

三大秘術奥の手開放

誰れにも熟練出來る
忍術 附 變現自在術の秘傳
氣合術
幻術

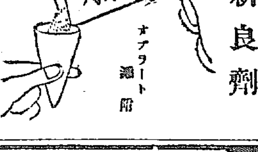
入會券

りん病 ばい毒
淋病梅毒藥の主たる藥は
歐米醫科大學帝國大學病院等にて實驗し
分析料百圓進呈
にせ物あり 大阪有田



京城南大門外停車場通 有田ドラッグ朝鮮本部
京城黄金町三丁目電車通 有田ドラッグ
龍山線兵場前 釜山大廳町三丁目 元山本町三丁目 平壤櫻町十三番地 仁川宮町二丁目 大連岩代町 有田ドラッグ支店
◎朝鮮のにせ物 京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり購入せらるる様御注意を乞ふ
請合藥有地藥店販賣不許　全國の都市に支店あり
大阪心齋橋筋本町　東京日本橋通四　有田ドラッグ

高貴藥配合
くだりどめ
最新良劑
清腸（セイチョー）



オブラート添附

主治
◎痢病 ◎腸加答兒
◎霍亂 ◎裏急後重
◎泄瀉 ◎食傷水傷
其他諸病より起る一切の下痢に用ひて大効あり

清腸五大特長
◎高貴藥を主劑とす故に効驗確實なり
◎散藥なれば腸の吸收最も能く奏効迅速なり
◎淡味、無臭なれば極めて服用し易し
◎くだりを止めた後工合の氣持善く申分なし
◎輕症なれば一回、重症なりとも二回にて大効あり

定價 廿錢・三十錢・五十錢・壹圓

本舗 大阪市堂島元標 高橋盛大堂藥局
發賣 同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店
東京市神田柳町 高橋盛大堂出張所
同 上海英租界交通路 日信大藥房
◎到る處の藥店に販賣す

中元御進物に最適品
シスター石鹸

青色煉製
純白淨製
粟津石鹸製造所

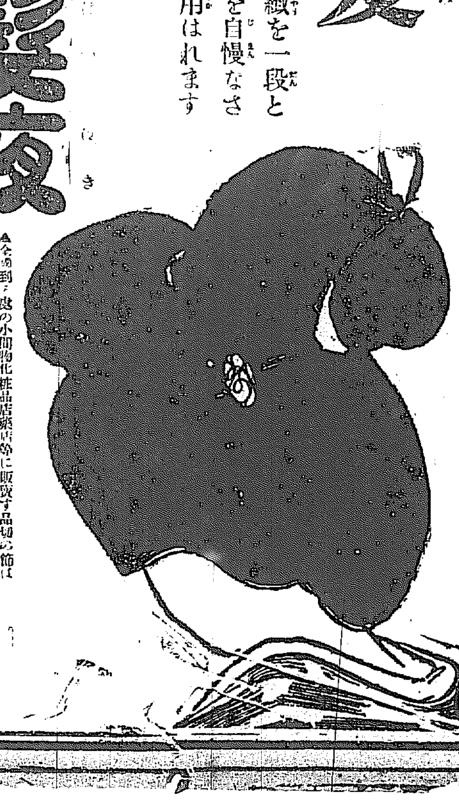
自慢の黑髮

何んなクセのある髪でもホーカー美髪液を用へば一度で見違へるばかり濡羽色の艶を出し、御標緻を一段と引立てるので髪を自慢なさる方は皆、此を用はれます

東京の髪結さんが皆褒める

ホーカー美髪液

■夏の美毛料として
▲クセ毛チヂレ毛を直し ▲房々として枯毛を去る
▲漆の如き黑髮となる ▲フケを去り頭垢を防ぐ
▲生際を好し臭氣を止む ▲香水以上の匂ひがする



定價 小二十五錢 大四十錢
ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髪液 ホーカースポート
東京市神田和泉橋際 本舗 堀越嘉太郎商店
電話神田特長四三・四三・二五 振替口座東京一五六
▲全國到る處の小間物化粧品店藥店等に販賣す品切の節は直接本舗へ振替又は切手代用御注文あれ

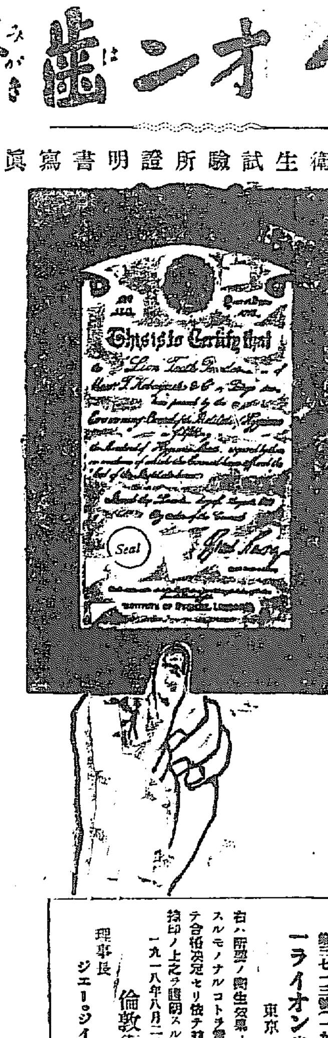
TAKA-DIASTASE
高峰博士發見
タカヂアスターゼ

本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。
本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國産品となれり。類似模造品は時日經過と共に效力滅却するを普通とす、我タカヂアスターゼは效力永久不變なり。
内外醫學者の實驗報告書無代贈呈す。

東京室町
三共株式會社

ライオン歯磨

倫敦衛生試験所證明書寫眞



世界的光榮を荷ふ。
是れ品質最良の證

第三七一三號（一九一八年發行）
ライオン歯磨
東京 小林商店製
右ハ所要ノ衛生效果ノ精確試驗ヲ究メタルモノナルコトヲ當試驗所協議ニ於テ合格決定セリ依テ玆ニ當所ハ本證ニ捺印ノ上之ヲ證明スルモノ也
一九一八年八月二日
倫敦衛生試験所
理事長 ジエー・ジイ・ラムセイ署名

上掲證明書譯文

汽車
[illegible]
馬山線
[illegible]

京城日報
第五版
(年中無休刊)
本紙定價 一部金五錢 壹箇月七十五錢 參箇月前金貳圓 六箇月同四圓 壹箇年同拾圓 郵稅別 ▲郵券代用二割增
廣告料 五號十四字詰一行一圓五十錢 ▲同特別二圓 ▲二號七字詰同二圓 ▲同三號八字詰同二圓 ▲四號九字詰 一週五十錢 ▲六號十六字詰金一圓
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 一長六千九番 三番 振替京城三〇〇番

[illegible]…を設け金を組合員の便利を畫策…つて第二回增募口數…ちにして豫期以上の…口數を…に於ける成績左の如し 組合口數 四、〇〇〇口 一時貸付金 …一當座預金 … 一四、九七二、六… 三七、八六、三… …を聞くに… 百五十三萬八千四百六十四圓…四十四圓あり之等を主なるもの…十七萬一千二百六十八圓…二十三萬八千六百…五月貿易に於て輸入額に於ては…百七十五圓之れに亞ぎ白木綿の四十二萬餘圓の超過を見たる…十四圓に上り輸入額に於ては二千九百四十二萬九千九百八十八圓に上れり之を昨年中の其れ…客月に入りては二百萬餘圓の…

京城日報 和後の獨逸

獨逸が其の課せられたる講和條約に對し、之が調印に難色あるは、固より諒とすべき點なきに非ざるも、凡そ古往今來戰敗國にして自己に都合好き和條約の成立せる例は、如何なる場合にも曾て之あるなきを以て、少くとも其の苦痛の稀薄なる講和、結局泣寢入の餘儀なき次第なるとは、當初より知れ切つたることなり。果然獨逸は之が爲に內閣の更迭を行ひ、又其講和委員の顏を更め、極めて柔順に調印を了したるは、聊か吾人に意外の感を懷かしめざるにあらざりしも、要するに萬々止むを得ざるを覺悟したる上のことにして、こゝが獨逸人の智なる所以にして、之を支那の講和委員が、自己の要求の採用せられざるを憤り、國の利害休戚を顧みずして、妄に夕いを捏ね居るに比するときは、有智無智相距る何ぞ啻に三十里のみならんや。然れどもさしもの獨逸國民も[illegible]。講和は脅迫に出づ、故に講和は價値なし、獨逸國民は決して自ら受けたる苦痛を忘るべからず、講和は唯之を指定せし邦國が、其の勢力を存續する限り有効なるのみ。此言たる恐らくは全獨逸國民の感情を代表せるものなるべし。然れども其言頗る偏激に過ぎ、動もすれば條約を無視せんとするの意味を帶べるを以て、政府は近に一般國民に戒告すらく講和條約に規定せられたる所を履行すべし(一)義務に從事すべし(二)と。而して更に附記していふ、此條約の曉潜たる前途に、吾人の見出す唯一の活路は、一致協力職業に從事し獨逸國と國民との存續を計るに在り。之を市井流にいへば、所謂臥薪嘗膽、含垢忍耻、他日の捲土重來を策するより外なしとするものにして、箇個に悲痛の叫びならずとせず。獨逸の勤勉忍耐にして、組織的能力に富、且つ義務心の旺盛なる、殆ど天下一品と目すべきものなるが故に、捲土重來の必ずしも顚倒せる要思にあらざることは、吾人も亦之を想ひ得ざる能はず。而して獨逸の復興は、即ち聯分たりとも聯合國の勢力を減殺する所以なるを以て、之に對するの計畫に慮りなきは勿論にして、彼の英米佛三國の防守盟約成立の如き、最も其の恐怖心を語るものなるのみならず、講和條約其ものに於いて、彼が如き嚴酷なる條件を課しウイルソン氏が提唱せる非賠償非併合の主義を全然破却したるも、其再興の期の一日なりとも遲延せしめんとの趣旨に出でたること、固より疑ふべくもあらず。此點より見るときは獨逸人は其の優秀なる能力を具有するがために、一層嚴酷なる制裁を受けたる譯にして、公平の立場より之を見るときは、亦氣の毒の感なき能はず。諺に喬木は風に折れ易しといへり。優秀なる能力を有するものにして、他の猜忌を受くるもの、遂に獨逸のみならんや。獨逸の將來は實に世界注目の焦點たるべし。其の復活が十年の後に在るか、はた百年の後に在るか、固より知るを得ずと雖も、之を近世獨逸勃興の歷史に徵するときは、斷じて久しく『日暮秋風起、蕭々樹林』の悲境に彷徨するものにあらず。加ふるに今回大戰の影響、其の戰勝國に及ぼせるものも、外に大にして、某々大國の如きも、內部に於て甚だしく不安を感じ居るものなきにあらざるをや。乃ちフォルウェツル紙が叫べる『勢力の存續』も遂に限る所なきを得ず。吾人は恐る、戰後の世界は俗論者が稱する如き改造を見ずして、却りて十八世紀に逆戾りするの觀あらんことを。是れ獨逸の乘じて以て復活を策すべき好機ならんのみ。

圖畫教育と國民的藝術 岡田秀氏講演

今回總督府編纂となりし朝鮮普通學校敎科書圖畫の用務を帶び來鮮したる岡田秀氏は朝鮮敎育研究會主催の下に二日午後京城高等女學校講堂に於て圖畫敎育と國民的藝術に關し一場の講演を試みたること既報の如くなるが今其の中より參考となるべき部分を紹介すべし

故ルーズベルト氏は曾て其の演說に於て『一國の文明の爲めには常に新しく國民的藝術と云ふものを建設して行かなければならぬ』と云つた。是れはルーズベルトの國民的藝術の建設と云つて有名な演說である。如何なる國に於ても常に新しく國民的藝術を建設して行かなくてはならぬ。私は此處では主として繪畫に就て述べるのであるが、單に繪畫のみに限らず彫刻に於ても建築に於ても皆其の通りである。最も國民の生活狀態との關係上在來のものを無理に壞すと云ふことは困難でもあるし又宜しくないことである。さて一體世間では敎育上の圖畫と美術家の繪畫とを混同し一般の小中學校でも畫家の描く樣な繪畫を敎へるものと思つて居る人が多い併し兩者は其目的からして異つて居る畫家の描くのは純粹美術としての繪畫であるが敎育上の圖畫は夫を應用して視覺即ち眼の感覺を訓練すると云ふが可なり重要なことになつて居る。有らゆる物體は形狀と色彩とがある、敎育上の圖畫は即ち此形狀色彩に對する常識を養はんが爲めである。又夫に從つて創作力並に精密なる研究心を養成し同時に趣味の向上を計ると云ふことも其の任務で換言すれば精神的並に物質的の效果を齎すものである今日の畫家の方には日本畫、西洋畫と云ふ樣な區別がある所から[illegible]鉛筆畫、西洋畫で[illegible]畫と云ふ[illegible]てそんなに區別を立てる必要はないと思ふ、鉛筆畫でもペン畫でも日本人が描いたものは日本畫であるべき筈ではないか。要するに是れは因襲に囚はれた考へから起るのである。

金剛山スケッチ(十) 明鏡臺 古賀鮎雄

宿雨晴れて朝暾尖峰を彩るも峠下猶未だ白霧散ぜず綠葉の餘滴巨石、萬若を濡し行路難き步を進む長安寺を後にする事數丁急湍を渡り白、紫の野花を踏んで黃泉江の幽谷に入る新羅敬順王高麗に下るに方り王子憤慨世を遁れて草食一生を終りたる所と聞く城廓の跡を白花匂ふ木蓮の陰に現はして千古の昔を語る有して黃流潭上に出づれば明鏡臺下に達す五十丈天を摩して垂直に屹立し瀑激せる潭面も鏡の如く落ち來る溪流の波紋にさへぎられて其影を映ぜずと雖も明鏡の名に背かざるべし

米國視察雜感(八) 宮舘貞一氏談

是れ米國に敎育の普及して居るに依ることは勿論ながら又米人がよく聞に合ふと云ふ長所を備へて居なくては出來ないことである。米國は寄合世帶の國故戰爭に參加すると云つても民族的觀念を以て民心を統一し指導することは不可能である所から所謂人道とか世界平和の爲めとか云ふ如き抽象的題目を揭げて國民の團結を計つたのであるが米人は理想に向つて猛進すると云ふ氣風が一般に强い故何等の故障なくして成功を遂げ禁酒法案、風俗取締、原料節約も着々實行せられると云つた樣である。又御承知の如く最近世界全體に亘つてデモクラシーの思潮が橫溢するの有樣であるが、是れは彼の十八世紀の末葉歐洲諸國が奈翁の壓迫から逃れ得ると共に各國に自由主義の風潮が漲り其の結果神聖同盟の力を以て是れを抑壓せんとするに至つたのと同一轍である。そして各國色々の形式を以て現はれ社會運動が盛んに云爲せられつゝあるが此の中米國に於るものが一番穩健である尤も米國にも一部には過激社會主義の運動がないでもないが大部分は穩健である米國は自由な代りに隨分不作法な者もあるが宗敎家其他有識者がよく民衆を指導し過ちなからしむることに努めて居るのである(完)

鍊膽錄

赤松圓心 三笑生

◇赤松則村は、入道して圓心と云つた。初めて禪法を聽き、少しく得る處があつたと見えて稍慢心を起し、禪僧を捉へては、愚にも付かぬ質問を發しては、當り散らして居つた。何人にも禪を修むる人には、能くあることで、初めて認性した時には、宇宙乾坤唯一吞と云ふやうな境涯になるもので、赤松圓心も、其の路を辿つたものであつた。

◇或る時、一禪刹の前に通りかゝるや、一つ住持の力量を試してやらうと、例の野心からツカ〳〵と門口まで行つた。すると其處に、十二歲ばかりの沙彌小僧が、土遊びをして居る。圓心は、此の小僧を見て『此寺の名は何と云ふか』と問ふた。すると小僧は、竹篦返しに『お前は何と云ふ人か』と遣つた。圓心は『赤松圓心と云ふものぢや』と云ふと、小僧は[illegible]と申す』と答へた。圓心は、此の小僧奴、年にも似合ぬコビた奴ちや、一つ試して見ようと『法寺』と一問を發して見た。すると小僧は、言下に『松に古今の色なし、如何なるか是れ赤松』と返した。

◇圓心は思ふた。こんな小僧でさへ、此の位に遣る處を見れば、住持の和尙は、餘程の遣り手であらう。徒らに見參して恥をかくにも及ぶまいと、其儘門內に入らずして引き返し、更に後日、威儀を正して參禪を始めて、後大いに得る處があつたと云ふことである。

◇滑稽、洒落、輕口を以て得たりとするは、禪の邪道であつて、それには何等の內容もなく、固より禪とするに足らぬものであるが、然し事に當りて、凝滯なく、罣礙なく、圓轉滑脫、當意即妙に捌いて往くことの出來るのは、亦禪機の活用であることを忘れてはならぬ。

登泰山 國分新庵
突兀平原五千尺。巖々纏石欲摩空。天風忽沸殘雲去。齊魯山河指顧中。

再和枕石道人借居韻 濟州島 金河鎭
爲是道人愛隱居。川雲嶺月松晴蹄。當鶯角見鶻鳥。水漲林塘聞躍魚。惟有春秋持史乘。能知古今讀奇書。淸風朗愛爭先世。枕石漱流驕自如。

實業之日本

□生活の不安を如何にすべき…社說
□余の觀たる支那の近狀…齋藤正純
□對支新借款問題…牧野敎授
□精神の抵抗力…增田
□支那內地旅行心得…吉岡技師
□金になる土の話…利用生
□女傑カフェ嬢の死…浮田和民
□注目せよ英米二國の對外魂膽…杉森孝次郎
在紐育の新渡戸博士より飛信あり題して 癩に觸はる排日論
こいふ曰く毎日名流紳士や學者達の接待を受けて居るもの、新聞の報道や論說に至りては實に癪に障はることのみである……
▽支那人の反感運動 ▽朝鮮人の排日運動 ▽加州人の排日煽動 ▽英國商人の排日論 ▽獨逸のプロパガンダ ▽敵本主義の排日論 ▽日本は文明の危險國 ▽例の廿一箇條問題 ▽日本に居ては其輪郭丈しか解らぬ 絶叫し來れる博士の言に聞け
□桂川電力の會社解剖
□歐米の資本勞働問題…小池張造
□農家の副業 緬羊の飼育…小松慶也
□最も有効の乳酸カルシウムを推薦す 健康增進劑
□驚異す可き噴火山頂の感奮
□夏期衞生法…醫學士
東京京橋區[illegible] 實業之日本社 振替[illegible]

人情俱樂部 女難男難 夏季增刊

□立の話 疑問の女…武田鶯塘
□尼僧の物語 山寺の戀…平山蘆江
□自殺した女の手記…松崎天民
◇自動車心中 ◇女難の人相 ◇藝妓の女難 ◇大江山の酒吞 ◇美人の女難 ◇佐倉の女難
◇女優淨氣帳 ◇男難一人女 ◇女難公爵 ◇俳優女難帳
日出の花 出奔…岩崎史郎
深川情史 冬木辨天…田村西男
論落の女 何處までも…北島春石
講談 籠釣瓶(典山) 戀の色蚊帳(貞玉) 大師の女難(圓遊) 雪の夜語(加藤) 名主(貞山)
勇館事件 妖婦?俠婦? 女難男難曆 契情紅淚篇
◇くせつ ◇女護ケ島 ◇珍らしの追善の夢 ◇戀の姦通 ◇紙入の物語 ◇子供の物語
哀艶情話 燒冷し…森曉紅
花柳笑話 脂藥…伊藤みはる
一讀千笑 テの字シの字…奧野他見男
本號に限り金五拾錢(遞料金二錢) 東京市芝區南佐久間町二丁目一八 振替東京[illegible]番 人情俱樂部

優等清酒 賀茂鶴

廣島縣西條町 釀造元 賀茂鶴酒造株式會社
京城府錦路公平洞 發賣元 河野酒店 電話二〇八番
龍山元町二丁目 特約店 松屋商店 電話六六一番

文章世界 七月號

東京本町 博文館
藝術家と俗世…佐藤[illegible]
我が感想…小川未明
內面からの接觸…西宮藤朝
利根の吾妻の渓…若山牧水
最近歌壇概觀…窪田空穗
創作 酔ひたる商人…松永野樹
醫先生…廣津
解放…中野緑葉
郷の小さな墓…田山花袋
河傍の家…
病床…
星見淨論…

謹告

謹啓各位益々御清榮奉大賀候陳者弊商會永年深厚なる御同情と特別の御引立を蒙り隆盛の域に達し候段難有御厚禮申上候就ては今回弊商會經營の諸油部營業を白神洋行へ讓渡す事と相成候間此段御諒承被成下度尚一層倍舊の御眷顧を賜り度願上候先は御禮旁々御通知申上度如斯御座候 敬白
京城南大門通二丁目 吉野商會京城支店 電話長一五七番

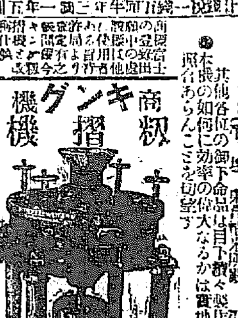
謹啓弊行儀今般吉野商會從來の經營に係る諸油部營業を繼承致し特に諸油部を新設し誠意奮勵業務の發展を期する所存に御座候間何卒格別の御愛顧御引立の程伏而奉願上候先は御披露迄申上候 拜具
大正八年七月
京城南大門外 白神洋行京城支店 電話長一一五七番 二二〇番

日之出印便利瓦

東京神田小川町 日本建築用鋼鐵株式會社
▽見本付カタログ進呈

製造發賣元 今藤直治商店

商標 キング 籾摺機



近代的科學の粹を應用し最も進步せる理想的なる キング籾摺機
●本機は朝鮮に於て左の各位の御實用を得つゝあり 平壤 加藤精米所殿 東洋精米所殿 平安精米所殿 永登浦精米所殿
●其他各位の御注文品は目下着々製作中なり
●本機の如何に効率の偉大なるかは實地使用家各位に就て御照會あらんことを切望す
玄米固有の自然光澤を絶對に損傷することなし 如何なる脆質の米も完全に脫殼す 砕米極度に僅少なり隨て他器によるもの比に非ず 需要馬力極めて少にして而も頗る強大なり 其他多數の特長は說明書に記載す
大阪市西區新町南通四丁目

講和記念大賣出し

各品共正札より一割引

七月一日から十日迄十日間
各品共正札より 一割引
但し小賣品に限る

◎各種時計 及 貴金屬品
◎寫眞機 及 材料品一切
◎自轉車 及 附屬品一切

◆金地値下りの爲め貴金屬製品は既に格下け致候も記念賣出しの爲め……特に一割引……
◆中元御進物品取揃へ申候
◆商品切手に限り五步引の事

(日曜日は休業仕候)

京城本町 株式會社 大澤商會京城支店
時計部 電話二八一番 寫眞部 電話三九三番 自轉車部 電話四〇八番 貴金屬部 電話[illegible]

講和記念大賣出し
各品共正札より一割引

新に代表を選み講和を締結せよ

陸徴祥氏等報告の大要

支那講和委員陸徴祥、顧維鈞、王正廷氏等は廿八日附北京政府に大要左の如き報告を爲したり(上海電報)

山東問題に就き我國は幾多の讓歩を爲し最後に保留を要求せるも許されず已むを得ず臨時に一々書面を送り『支那は條約署名に由り將來重ねて此問題を議する事を請ふを礙ぐる能はず』云々と聲明せり元來此事は支那の安危に至大の關係あり若し陰忍して署名せんか前途更に多難の事あり外人の論調に徴するも支那は輕々しく署名するの理なしと言へり故に協議の結果署名かざるに決し直ちに書を講和會議長クレマンソー氏に送り支那の獨逸と單獨講和の權を保存す可き旨を聲明し暫らく餘地を止めたり思ふに我等委員は重任を負ふて歐洲に來るも之れを全ふする能はず此の憂ひを貽せり、然れば政府は命令して陸以下の職を去ると共に懲戒に附せん事を請ふ而して別に人を選み速に講和を締結されよ

不調印と支那

多大の困難に遭遇せん

支那講和委員は其策略を變更し調印せんと試みつゝあるが如きも「對獨講和條約調印の正本は未だ支那委員が調印爲さゞるより該條約の寫本は日本及び英國の委員に交附せられず這は支那問題の發展を俟つが爲めなりと解せらる若し支那委員が相當期間内に調印せざる時は寫本は支那の調印を俟たず各國委員に交附さる可く若し支那委員が最後迄調印せざる時は支那は單獨に獨逸と講和交渉を爲さゞる可らず其場合支那は多大の困難に遭遇す可しと而も獨逸が支那の交渉を肯んずるや否やは頗る疑問とす可し(巴里電報)

條約批准要求

對獨講和條約調印後ウイルソン氏は米國人民に電報を發し該講和條約を改正せず保留する所無く現在の儘批准せん事を求めたり(ヴエルサイユ電報)

前獨皇太子所在

獨逸皇太子は依然ウイリンゲルに滯在する旨公式に發表されたり(海牙電報)

獨帝審問裁判廷

英國首相は前獨帝を審問す可き裁判廷は倫敦にて開廷さるべき旨下院に報告せり(倫敦電報)

鐵道運輸不可能

伯林來電 伯林は從業員罷業の爲め鐵道運輸不可能となれり政府は革命黨員一千名を投獄せり騷擾は鎭靜せり(倫敦電報)

勞働黨大會決議

英國サウスポードに於る勞働黨大會は政府をして露國に於ける軍事行動を停止せしめんがため勞働組合に勸說し彼等をして產業的活動を開始するの態度に出でしめんとするの決議案を九百三十五對千八百九十三票の大多數を以て可決したり又同會議は英吉利帝國に於ける徴兵制度を廢止せしめんが爲め即刻產業的活動を開始すべく勞働組合後三角同盟(坑夫鐵道從業員、後運輸勞働者)に勸告する決議案を通過したり(倫敦電報)

檢閲使師團長御陪食仰付

聖上陛下には五日正午千種間に松川、仁田原、本鄕各檢閲使西伯利より凱旋せる大井第十二師團長に御陪食仰付られたり(東京特電)

明石總督重態

明石總督は一兩日來風邪の氣味なりしが五日朝内閣に達せる電報に據れば體溫三十九度七分にて急性肺炎の由也(東京特電)

金融組合狀況

大田より[illegible]の越高は一萬一千九百六十一名なりき[illegible]

大井中將參内

西伯利出征中なりし大井第十二師團長は五日午前九時半着入京帝國ホテルに小憩の後直ちに參内委曲伏奏せり(東京特電)

佐藤少將參内

戰利潛航艇回航委員佐藤少將以下は五日午前十時參內回航の狀況委曲伏奏し退りて賢所參拜を爲し退出せり(東京特電)

波多野大佐待命

失言事件にて問題となれる波多野海軍大佐は今回待命となりたり(東京特電)

内閣定例閣議

五日午前十時より内閣にて定例閣議を開き各大臣列席し東上中の朝鮮總督府宇佐美內務部長官の時局經過の報告を聽取し了りて午餐を共にし朝鮮總督府農事試驗場官制中改正の件外數件を決定午後二時散會せり(東京特電)

朝鮮時局說明

五日午後二時貴族院幸俱樂部例會席上にて宇佐美內務部長官は朝鮮時局に就き說明せり

國際汽船成立

役員其他決定

國際汽船株式會社創立總會は三日午後四時神戸オリエンタルホテルに開會金子直吉氏座長席につき會社創立に關する事項の報告を爲し直ちに取締役十五名、監査役四名の選擧を行ひたる結果左の諸氏當選せり

▲取締役 松方幸次郎、川崎芳太郎、野村驍、廣瀨滿正、松方正雄、阿部正也、四本萬二、金子直吉、成瀨直泰、淺野良三、瀧川喜造、内田信也、中山說太郎、山下龜三郎、高畑誠▲監査役 太田保太郎、進藤信義、勝田銀次郎、勝田鎔一

尙取締役會を開き社長の互選をなし滿場一致にて川崎芳太郎氏を選擧せるも川崎氏は當日出席せざりしを以て後より承諾を得る事とし專務及常務取締役は次回の重役會議にて選擧する事とし六時散會せり(大阪電報)

麥作豫想

本年麥作豫想は二千三百八十七萬餘石にて昨年より六十九萬石增收の見込なりと(東京特電)

日貨排斥影響

藤原交通銀行顧問談

支那交通銀行顧問藤原正文氏は五日夜東上の途入城せり氏の談に曰く學生日貨騷動につき邦商は一般多少の影響を受けざるなきも近時聊か小康の狀態にあり米國の對支那投資說は屢々耳にする所なるも實現するものは極めて尠きが如し

内地人の朝鮮人に對する根本的誤斷(上)

同化上大なる禁物

在大邱 某朝鮮人談

余は內地人中朝鮮人を根本的に侮蔑する者が多いと思ふ、朝鮮人の言ふこと爲すことが、苟くも自分の意に合はぬ樣なことは假令其是非善惡は辨へる暇なく直ちに朝鮮人だから碌なことはない仕方がないと云つた樣な樣子を見せ、若し自分より優れる樣なことは其人格學識等の顧みることなく直ちに朝鮮人の癖に生意氣だ潜越だと言はんばかりの態度を顯はす者が多い、甚だしきに至ると相手によつては右の樣なことを口に迄出して直接罵り嘲る者さへある、從つて朝鮮人も之等內地人に對しては勢ひ憎惡の念を起し或は恨を持つ者さへある 斯樣な現象が智識階級に於てすら尠からざるを見るは遺憾至極である、兎角內地人は朝鮮人を根本的に自分より一段劣等の地位にある者の如く思つて眞の同胞として相手にする意志は薄く從つて朝鮮人も內地人を異人視して嫌ひ之と接近するを心からは悦こばぬのが殆んど一般の狀態である、故に多くの場合内鮮人の交際は表面のみであり形式的である

利害關係上 止むを得ざる僞の交際である、相互隔てなく眞に心を許して相付合ふと云ふ樣な事は極めて稀である、斯樣なことでは內鮮人の同化どころではない前途甚だ憂ふべきことではないか、凡そ人間の感情は一旦根底を誤れば益々其誤つた方面に走り易いのである、殊に短氣にして感情に走り易く熟慮の乏しい者に最も甚だしいのである、何人も其

根底を誤らぬこそ肝要である 昔から疑心暗鬼を生ずと謂はれて人を疑ふさへ忌むべきを誤して居る況や根本的に誤斷を爲すに於いておやである、多くの內地人は其心理に朝鮮人は劣等人物だと云ふ根本的の誤斷があるから其言語動作が兎角劣等視せられ易いのである、抑も內鮮人は同一系統の人種であつて稀に他の人種が交つては居るもの、一體が人種として優劣のないことは勿論である、日韓

併合は合意 であつて勢力の壓迫からではない舊韓國皇帝陛下は大勢に鑑み民意を容れ給ふて其統治權を日本國天皇陛下に讓與し給ひ日本國天皇陛下之を受諾し給ふて日韓合して一國となり韓國臣民は日本國天皇陛下の主權の下に臣民となつたのである

調印拒絶と法理

支那の意思を善意に解釋して

支那全權委員は二十八日對獨講和條約調印を拒絶したりとの事なるが右は果して本國政府の訓令に基づきて爲したるものなりや又は委員獨斷にて爲したりや就ては眞相未だ明かならざるものあり支那政府に於ては六月二十一日附を以て在佛全權委員に宛て無條件にて調印すべき旨訓電したりと稱し居れるが其訓電の內容明かならざるも吾人は支那政府の意志を成るべく

善意に解釋 せんと欲す法理上より云へば各國は巴里講和會議に於て支那委員を參加せしめ居たる關係上支那委員も調印すべきものと解釋して調印成立したる次第なり唯支那委員は其從來の立場より本國の輿論を考慮して調印を回避したる次第にして恰も獨逸伊太利等が調印の間際に至りて全權を更迭して調印を爲さしめたると事情相似たるものあり唯支那は講和地にありて急速の間に委員の更迭を爲す能はざりしとせば多少之れに同情し各國の調印

成立後と雖 調印を爲さしむる餘地を與へざるべからず而して其期限は如何にすべきやと云へば條約は總て批准に依つて効力を生ずるものなれば五大國中の三國以上が批准を爲して對獨條約が効力を生ずる以前なれば差支なしとせざるべからず尤も其場合に支那政府は調印後直に批准するにあらざれば無効なること勿論なりされば其以前に支那政府が全權委員を更迭して調印するの誠意を示さば各國之を諒とし便宜の方法を講じ調印せしむべく然らざれば對獨講和條約中支那に關する條項は一切無効となるべき次第なり以前に條約を批准したる國は頗る迷惑を感ずるに至るべし云々(高橋作衛博士談=東京)

關稅改正希望(中)

京城商業會議所の答申

若し夫れ保護關稅を現存の產業のみに限り且つ自ら發達し得るもの及び保護の效なきものを除き單に內地品の競爭あるが故に發達し得ざる產業を求むるものにして仔細に

之を考査 するときは殆んど保護すべき產業なきに似たり之に反し將來に亘り朝鮮產の原料を使用する工業は悉く之が保護獎勵すべしとせば其範圍は頗る廣きものにして輸移入物品の全部に亘らざるべからざるの觀あり曾て當會議所月報本年五月號に於て『朝鮮關稅改正に就て』論する所あり而して移入稅を若し撤廢するとせば如何なる產業が打撃を受くべきやを調査して左の數種を得たり

(一)木綿絲生絲、麻絲製造及其等の染織業(二)和洋紙製造業(三)陶器磁器製造業(四)酒類釀造業(五)味噌醬油製造業(六)製鹽業(七)漆器製造業(八)皮革製造業(九)海產物加工業(十)澱粉製造業(十一)搾油業(十二)石鹼製造業(十三)メリヤス製造業(十四)柳細工

是等產業 の悉くが保護を受くべきにあらず或は保護を受けざるも自ら發達するものあるべく或は保護の時期尚早のものあるべく種々一定せざるべきも移入關稅上最も考慮を要するものは是等の產業に存することは疑なく是等の產業上の諸種產業に付き如何の保護を加ふべきかは頗る困難なる問題にして實は暫定率を施行して實際の成績を徴し新たに確定率を制定するの良策を採用するに如かざるなり何となれば此稅率は消費者及商人は低きを欲し工業家は高きを欲して其側的の意見なるを免れざるものあればなり例へば醬油製造の如き製革の如き

生產者は 内地品の壓迫甚しく經營困難なるを訴ふれども單に商品を取扱ふのみに止まる商人は業家と利害の異なるを主張すべし然れども斯の如き場合には寧ろ生產者の言を聞き從ひ其必要を認めて附錄移入關稅率に於ては種類に於て多數にして稅率の高きものあり會に於て否決創めたるものも之を備考欄に簡單なる注意を與へ置きたるが故に參照せられんことを希望す

前述の如き理由の下に當會議所が附議したる所は對內地貿易を主とし從て改正案も其範圍を超へず[illegible]

撤廢ノ部 米、粟、落花生、其他の穀物、穀粉及澱粉小麥粉、片栗澱粉其他の穀物、胡椒子、其他の穀粉及種子、茶、咖啡ココア類、胡椒、食酢、味噌、醬油、玉葱、甘藷、其他の生菜類其他乾菜類、漬物、蜜柑、夏蜜柑、其他柑橘類、林檎、梨、バナナ、其他生果、乾果其他乾果、梅其他貯藏果物、椰子實、コンデンスミルク、バター、生卵、鹽鮭、鹽鱒、其他鹽魚、鰹節、數の子、鯣其他、昆布、針水其他諸飲料水、鑵詰、壜詰魚介、同鳥獸肉、同蔬菜、同果實其他、其他飲食物、砂糖、水砂糖及角砂糖其他、ビスケツト、菓子、酒、ウイスキー及ブランデー、葡萄酒、其他酒類、甘草、酒精、硫酸、石炭酸、苛性曹達、曹達及炭酸曹達、規尼涅、莫兒比涅、ガーゼ繃帶、賓藥化學藥其他藥材アニリン及アリザリン染料、ペイント、ヴアニシユ其他染料彩料及塗料、菜種油、荏胡麻子油、大豆油、其他植物性油、石油、機械油其他重油、パラフインワツクス、蠟燭、其他の油及蠟、繰綿、打綿、單絲(十番迄十六番迄其他)、燃絲(二十番迄其他)、瓦斯燃絲、燃絲シルケツト、綿縷絲、綿剝絲、麻絲及麻線、麻紮、其他の絲縷及同材料、生金巾及生シーチング、晒金巾及晒シーチング綾金巾、色金巾、天竺布、綿帆布、綿繻子及綿イタリアンス、更紗、綿フランネル、綿モスリン、綿縮、綿縮小巾、同大巾、白木綿、色木綿、縞木綿、手拭地、其他日本木綿、寒冷紗、綿絹、綿蚊幗地、其他綿織物、帆布、毛製糯紗、毛綿製糯紗、アルパカ類、モスリン、フランネル、其他毛織物、絹紬、絹紗、絹縮緬、繻子、絹羽子、銘仙、甲斐絹、絹紬其他絹織物、毛絹交織物、其他交織絹織手巾、其他手巾、綿浴巾、毛布及綿製氈、毛製氈其他、莫大小及リノリウム、花莚、綿製打紐[illegible]製品、其他布帛製品、和服

會議所が 是等を輕視するに非ず特に支那產麻布及絹布類に付ては特に保護稅の設定を希望して已まず而して此等各方面の稅率は財政事情又は社會の狀況に從て定むべく會議所は一に總督府を信頼して多く議するを好まざるなり

仁川倉庫有望

倉庫業の統一

仁川倉庫會社は一時取引所事件の爲め創立中絕の姿なりしが其後經濟界平調に復したるを以て愈々拂込みを督促する事となり既報の如く去る三十日迄に第一回の株金拂込みを了し來る十五日頃創立總會開會の手續を爲し本月末迄には創立を見るべく同會社は資本金五十萬圓を以て株數一萬株なるが之等は全部發起人に於て引受けを了し居れり取引所の重役に於て引受けたる分は之を吉田、河野、加來其他の發起人に於て引受くる事に決定したりと云ふ右に就き某有力者の談を聞くに仁川に於ける倉庫事業は最も時宜に適したる企なりと思惟す由來仁川に於ける穀物其他の輸移出數が逐年激增し居れる事は今更言を待たざる處なるがこれに伴なふ

倉庫の不足 を訴ふる事既に久しく廻穀出盛り期の如きは市内の空家と云ふ空家は殆ど倉庫に代用され甚だしきに至りては閑散なる病院に交渉して病室を倉庫に充つるが如き事さへあり而も猶且つ收容力に不足して止むなく野積と爲し降雨其他の爲め變質或は腐敗せしむる事さへ往々耳にする處なるが今回の仁川倉庫會社は之等の遺憾を補はん爲め極めて低率なる料金を以て確實に物品を保管し預かり證を發行するものにして荷主は預かり證を以て何れの銀行よりも割引を受くる便利あれば事業開始の曉は依託申込相當の額に達すべしと思ふ現に高率の倉敷料を支拂ひ

稅關の保稅 倉庫に長時日の依託を爲しつゝあるものも競つて之れに來らん商會社は現在の個人所有倉庫を買收するは勿論新に數棟を建築する計畫にして追つては金融機關をも設置して一般信託者の便を計る筈なれば何れ全部の拂込を了し將來は三百萬圓位の大會社と爲す必要あらん

西伯利通貨問題

朝鮮銀行理事 堤嘉三氏談

目下來城中の鮮銀浦鹽斯德出張員堤嘉三氏の談に曰く西伯利政府にとつて重大なる問題は交通問題と通貨問題なり而して交通問題は列國との間に協定行はれ輸送狀況も漸次改善されつゝあるは事實なり次に通貨問題は列國の間に整理案の成立を見たれども

西伯利政府 が承認せられざる限り通貨整理案も格別進行せず從つて同政府の借款問題等も具體化するに至らざる現狀なり然し通貨の紊亂極度に達せるを以て同政府としても自主的に通貨統一の政策を執るの餘儀なきに立ち到れり即ち實力無きに係はらず頻りに通貨の統一を策しつゝある所に一種面白味を感ずる次第なり、而して同政府の財政狀態如何を見るに昨年下半期に於ける國庫總

支出は十億留なるに總收入は三億留にして七億留の缺損補塡は之を國庫債券發行に依りたるを以て勢ひ通貨の膨脹は免れ難き所にして對外的の價値の下落する所以なり 今年四月頃歐露に於ける過激派政府の發行せる留の總額千五百億留の巨額に達せり西伯利政府の藏大臣の過激派に對する宣言書に頗る振つた文言あり曰く

過激派の味方は劍戟銃砲にあらずして紙幣印刷機なりと以て紙幣洪水の一端を窺知せらる 殊に西伯利政府がケレンスキー小札紙幣の流通禁止をなし今又七月三十一日を期して過激派の發行せる地方有價票の流通を禁じ早晩ケレンスキーの大勢及び

ロマノフ紙幣 にも及ばんとせり斯く同政府が思ひ切りて統一を策する所以は同政府の發行の紙幣を外國銀行に受入しむる意向にて現に一部意向の實徴を見つゝあり夫れにしても通貨の本體たるべき同政府の紙幣に就て紙質の粗惡、印刷の拙劣等通貨としての形式の不備等改善すべき點頗る多し要するに通貨問題の如きも西伯利政府承認の政治問題の解決が主なり解決せられざるもこれに對する列國の態度の決定を見ざれば具體的に論議し難かるべきか

面目一新の青島

支那の利潤=事業會社勃興

秋山青島民政長官談

山東問題に關し政府と打合せの爲め五日夜京城通過直ちに東上の途に就ける秋山青島民政長官は支那講和委員の調印拒絶問題は其眞想を洞知し難きも南北兩派より派遣せられたる委員の事故委員間にも軋轢を生じたる結果には非ざるか畢竟政黨政派の感念強くして罪禍は他に押し付け己れ獨り善からんとする對内的陋策に過ぎず其間賣名の徒の盲動するあり依然として支那は徒らに文章口舌の國なり吾豈辯を好まんやなどと云ふも實は大いに其逆說の必要あり青島は日本の租借以來萬般の施設により面目一新の感あり落花生、生油、牛肉、牛卵粉、鑛物等物資の產出益々豐富となり之が爲め支那は非常なる利潤を得て農工殖產の發達は實に著しきものあり殊に近時内外紡績、大日本紡績等の工場建設せられんとし其他にも同種類の事業會社が數多計畫せられつゝあり朝鮮に於ては石炭の缺乏を告げ居る由なるが將來一日千四百噸の採掘をなす泗川炭を青島を經て朝鮮に輸入するは難事に非ず

警察職員異動

道間警察官署職員に左記の通り異動ありたり

新任地	前任地 官	氏名
慶南警務部	慶北警部	三浦政勝
唐津署長	慶南警部	迫野準治
慶南警務部	咸安署長	赤平良一
警務課	龍岩浦警部	小澤義雄
龍岩浦署長	忠北警務部	安樂泰雄
慶南警務部	元山署	福田政八
木浦署	咸南警務部	國枝鉛
元山署	陰城署長	松田三次
陰城署長	木浦署	林田行貞
忠北警務部	鏡城署長	椎谷巳之助
鏡城署長	全南警務部	野村幸久治
全南警務部	本町署	今瀬金太郎
高敞署長	任實署長	岡田鐵幸
鎭安署長	高敞署長	金川紫一郎
任實署長	鎭安署長	笠間參男
西路署	洪原署	李源甫
木浦署	新任	古庄明
平北警務部	同	前田晋
咸南警務部	同	池內勝太郎
鬱陵島署長	同	岩淵永一郎

普校長講習會

京畿道にては來る廿六日より八月十日迄普通學校長講習會を開催し朝鮮語の講習を爲すべし

出張辭令(四日附)

總督府技師 山岸睦造 平安南北、京畿道、黄海道へ出張を命す(二十九日の發定)

同 佐藤修一 平北管内へ出張を命す(三十日の豫定)

人事消息

▲鹽澤警務部長(寺島警視) 管內狀況視察の爲め五日朝加平に出張六日歸任の筈 ▲森正一氏(支那財政顧問) 五日夜入城天眞樓へ ▲藤原正文氏(支那交通銀行顧問)同 ▲岩崎虎次郎氏(鮮銀仁川支店長) 五日夜入城不知火へ ▲奥田初太郎氏 同夜退城

烏職錄

▲過般京畿道廳の或係りに書類入れの大箱が搬ぎ込まれた▲何しろ長サ四尺に幅二尺、高さが八九寸も有らうと云ふ大箱で道廳始まつて以來のことなので何の書類かと聞いて見ると▲之れは例の山唯君の高川郡の干拓事業の設計圖と目論見書であつた▲係りの先生喰じて曰く流石は成金さんの仕事だなあ—▲總督府の川崎鑛務課長は國際聯盟は成立しても國際鑛物同盟が出來ねば駄目だと云つて居る▲日本は石炭に銅が富だとあつて盛に輸出して居るが鐵となると全然問題にならぬ▲先般米國から禁輸されただけで大抵屁古たれたが一朝國家に事ある場合鐵を封ぜられたら艦も砲彈も製造ることは出來ぬ▲冬々たる獨立國でも鑛物上の獨立が出來ない限り甚だ心細い、獨立國だから鑛物同盟を結んで必需品を自由に貿易の出來るやうにせねばならぬと▲三四日前朝鮮公論社長牧山代議士の家に蜜蜂の一群が迷ひ込んだ▲朝鮮でも日本でも古來蜜蜂が家に入るのは吉兆だと傳へられて居るので牧山君の家では大喜び▲或る入殺ましがつて曰く又タングステンでも發見しましたかね……

京城期米 [illegible]
仁川期米 [illegible]

祝平和克復
製氷販賣
釜山本町一丁目
釜山水產株式會社
製氷所
電話七三六番

祝平和克復
不二興業株式會社

營業品目錄
雜貨、乾物、雜穀、漬物各種、海產物、清酒、醬油、銘茶、漆器、家具、荒物、花莚、雨傘、金物類、土木用具、砥石、針金、細工物、履物、文具類、鳥類、線香、紙類、線類、洗濯石鹼、石油、日鮮向陶磁器、土管、セメント、コールタール、其他日鮮人向日用品一切
◎鑵詰買入
龍山今組代理店
仁川新町 津田兄弟屋本店 電話七六二番 振替京城三八九
京城明治町二丁目 津田兄弟屋支店 電話本局一六七〇番 振替京城三一八一番
黄海道兼二浦 津田兄弟屋出張店

祝平和克復
雜貨卸問屋
株式會社 明治屋
釜山大廳町 電話七六番 三四八番

專賣特許第二七七六八號
●理想的速冷器現はる!
如何にせば簡便に冷きビールを飲み得るか◎
曰く專賣特許速冷器あるのみ!!
正價壹個金五圓八十錢
速冷器

◇本器の特長並に構造
一本器は冷藏庫の如き長時間を要せず僅に三分間にて冷却す故に必要に應じ僅に百匁の氷にてビール其他サイダー、コーヒ、牛乳茶、麥湯、精酒、煮出汁、水藥等速座に冷却す
一本器は金屬製にして外觀優美高尙且堅牢にして永久品なり
◎各地に特約販賣店を募集す希望者は至急申込みあれ
製造發賣元
京都市黑門通中立賣南入
明立社
振替大阪三〇六五七
朝鮮一手販賣元
大邱府錦町壹丁目
明立社出張所
電話五四番

五百四十圓にして本月中の信託[illegible]五錢月末現在高は一萬三千四百[illegible]高は二萬七千八百廿五圓同收二[illegible]五十五圓六十一錢なり又組合員[illegible]四千百十圓月末現在は四萬九[illegible]は六名を増し現在は二百八十八[illegible]千二百五十五圓也又預金の前月

鮮銀	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
同新	五五、〇〇	△一四五、〇〇
京電	一二〇、〇〇	△一六一、五〇
東拓	五〇、〇〇	△八六、〇〇

寄付 三七、八〇
高値 ……三七、〇〇　三六、五〇
安値 ……三六、三三　三五、五〇
止め ……三六、〇〇　三五、三〇
……三六、九六　三五、五〇

◇出來高 中限六千七百石　先限四萬九千石
◇夜越 中限二萬二千七百石
◇取組高 先限一萬七千[illegible]百石

の前止め下落[illegible]し當限三十八圓三十七錢中限三十五圓八十六錢先三十四圓八十九錢高値三[illegible]が〻バラ節の強弱者は[illegible]現在の正米事情を[illegible]したるが阪地相場も下落し居れ[illegible]ず援入甚深の[illegible]

廻る因果のアロ兩州

最も嬉しい佛大統領

歐洲大戰の結果として地圖の大分變革せし内殊に目に附くは獨佛間に因果恐はるアルサス、ローレンの二州である、全體兩州は獨逸領で七世紀頃から十五世紀頃迄は大公國として支配されて居つたが紀元一千六百四十八年から九十七年迄に漸次佛國に蠶食せられ一世奈破翁の威を歐洲に振ふに至つて確實に**佛領に歸**したのである、然るに一千八百七十一年の晋佛戰爭で三世奈破翁の大敗した結果獨逸に收返され今日に及びたるに今回亦復佛國の意還する處こ爲つた、何にしろ數十年前迄で佛領であり風俗習慣迄純佛國式に出來上つた兩州民は今回再び佛領に復したので

其歡びは非常な者らしいが殊に現大統領ポアンカレー氏はアルサス州の生れだと言ふから人一倍の歡びであらうと一外通の談

今後の舞臺は東洋

英米の勢力殺到せん　帝國の將來を思へ

小和來！平和來！然し徒らに平和の祝ひ酒に醉つて多艱な帝國の將來を忘れるなと某政客は之に就て曰『今の講和は將來列國の國際經濟の背景であつた**弱肉强食**主義が敗れた形となつて民族自決を標傍した國際聯盟が成立した、遠い將來は知らず少くも今後半世紀位はこの主義で遣つて行くだらう然し弱肉强食主義が消滅しかけたとは云ひ條やはり世界に覇を稱へるのは優良な國民性を持つた民族に獨逸なども戰敗の結果一時は大いに苦しむだらうが**近い將來**にはグンご擡頭して來るだらう、今日世界を風靡する過激主義も獨逸人の深刻に猶太の殘忍性を加味したものでやはり獨逸人の勢力の一發現と見て宜しい、若し夫米國に到つては建國の精神をウイルソン大統領に依つて世界に宣傳し且つ財力は世界一で即ち精神的にも物質的にも將來の發展は素晴らしからう、而して當然**資本主義**大旋號を擧げて支那、西伯利に殺到して來るだらう、英吉利に至つては印度を根據地にして南支那から中央亞細亞に手を伸ばすこと必然で之等諸勢力の流れの集中點は即ち支那である、此間に處する我日本は何んな狀態か、日く政治、教育、産業一つとして成つて居ない、即ち眞に祝ひ酒に醉つて居らるゝ場合では無い」

日本へ過激思想

宣傳する二つの道　冗談の樣だが油斷ならぬ

平野丸で歸朝せる内務書記官次田大三郎氏は語る　私は主として瑞西のベルンに滯在したが半年前露國の過激派が發表したこいふプログラムによるご日本へ過激思想を宣傳する手段として二つの道順を定て居る一つは**朝鮮を侵**して進むもの一つは米國を侵して進むものこだが米國を經由する理由は却々振つて居る之が說明は斯うだ米國には多數の猶太人が居るこの猶太人はカールマルクスを始めレーニン、トロツキー（此の人だけは母が猶太人である）何れも同人種で國家なく先天的**世界主義**を奉ずる所謂過激思想に感化さるべき可能性を持つて居る連中だから在米の各猶太人を侵せば米國政府は必ず放逐政策を取るに違ひない其場合日本へ行くこいへば米國政府は從來の對日政策から押て**雙手を擧**げて贊成し旅券を下付する斯て過激派政府からドシ〳〵旅費を送つて日本の橫濱神戸に送り込む斯うすれば日本は直ちにボルセヴイズム化するこいふのだ、チヨット聞くこ冗談のやうだが過激派の言明する所は從來總て實現して居るされば此の際日本こしても十分の警戒が肝要だこ考へる

月桂冠

大飛行の　誰が占めるか

出場選手の顏觸れ

今秋九月中旬を期し帝國飛行協會主催の下に東京大阪間郵便懸賞大飛行を決行する事は既報の通りであるが我國**最初の試**みなる此大飛行に於て果して誰が名譽の月桂冠を得るであらうかこ云ふに在我民間飛行界に在つて先づ此擧に參加し得るゝものと想像出來るのは東京府下赤羽岸博士の飛行場に於ける井上中尉を始め本月一日同飛行場に練習を終つた飛行家井出田氏外三名群馬縣尾島町中島飛行場の水田中尉、佐藤要藏氏夫から千葉縣津田沼海岸の伊藤音次郎、山縣豐太郎兩氏並に**飛行協會**所屬の後藤、飯村氏等であるが第一回の郵便飛行の方は東京から大阪まで飛翔し同地に一泊の上歸京するのだから大した事はないが次の東京大阪周航飛行は大阪に着陸せず東京を出で、東京に歸るのだから機體に相當の設備も施さねばならぬ跡に消耗品宿料器具の損害等總て飛行者自身の負擔であるから愈々飛行に參加するとなると相當の**費用を要**するから星野中將は別として其他は稍財力的に頭を惱める事であらう、是について協會副會長たる中島中將は語る「郵便飛行でも周航飛行でも、大西洋乃至太平洋の橫斷杯から見ると、誠にお茶の子で佛國飛行團に聞かれて恥かしい次第であるが何うも仕方がない變に協會の後藤技師が東京大阪間を無着陸で飛行した時は片道六時間餘を要したが現在の優秀な飛行機であつたら往復**五六時間**で飛ぶ事は困難でない尚今回の成績に依つて更に近く第二回郵便飛行を行ふ計畫である」（東京）

安田家の事業

は合議制か

安田家の事業は從來名會社安田保善社中心こなり更に安田善三郎氏の獨斷的經營を爲しつゝありしが近來善三郎氏多病の爲め今回同氏は單に保善社顧問こなり保善社及び安田一家の少壯有爲の人にて合議制こ爲すに決せりこ傳へらる（東京特電）

雨の朝

支那人職工の同盟罷業

安東滿鐵附屬地支那人經營の織物工場の支那人職工百餘名は臨時手當二角を一角六分に減額されしを不服こし四日以來同盟罷業せり（安東特電）

京城製絲始業式

昨日官民多數を招待して

男爵李載克氏を社長に漢銀支配人石鎭衡氏を取締役させる京城製絲株式會社は昨年二月設立許可の指令を受けて以來水質佳良なる東大門外に數千坪の敷地を購入し工場の建設中であつたが**此の程竣成**したので五日午後二時から始業式を行ふた○小原殖商工部長官、十時技師、有賀殖銀理事、松崎朝郵專務、漢銀專務韓相龍氏、同副支配人韓翼教氏等を始めこし內鮮官民五十餘名の來賓あり李社長の挨拶石取締役の報告、小原長官並に韓相龍氏の祝辭があり閉式後に作業の實況を觀覽に供した。同社工場は**信州式の釜**百釜を設備し鮮女工百餘名を使役して居るが目下練習中であるので當分は鮮地需要の組紐用生絲を製し女の熟練を待ち米國輸出向の製絲をするさうである。當日小原長官の與へたる祝辭左の如し

祝辭

製糸事業は鉅額の資本こ緻密なる技術こを要し而も生產品の價格は變動恒なきが故に經營は各種工業中最も困難なるものこ稱せらる然れども朝鮮に於ては蠶業の發達逐年隆盛を致し將來最好望なる產業の一に屬せり從て製絲工場の興起が經濟上必須のものたるは言を要せざる所なり本會社の設立者は深く斯の點に考ふる所あり啻て之が經營を企劃し拮々其の步を進め本日を以て之が開業の式を擧げるに至れり其の事業に熱心なる所信の深きこは眞に敬服に堪へざる所なり思ふに本會社が將來事業を遂行するに當りては幾多の困厄に遭遇すべきや敢て想像に難からず宜しく堅忍持久最善の努力を以て有終の美を濟すを期するこ共に繰絲技術の練磨に努め生產品の向上を圖り經理の確實を期し以て本場の隆盛を致し延て此種事業の模範を示すに至らむこを切望す

大正八年七月五日　農商工部長官　小原新三

霞ヶ關の大夜會

盛大なる平和祝賀舞踏會

五日午後七時半より霞ヶ關外相官邸にて平和祝賀舞踏會開催されたるが晩餐會には各國大公使首相以下各大臣其他貴衆兩院議長東京府知事市長等其他多數參列し內田外相は戰捷祝賀の意味を佛語にて挨拶し露國大使外交團を代表して答辭を爲し　天皇陛下並に各國元首の爲めに乾杯し同八時半宴を終り九時外相、同夫人主人役こなり各國大公使館員武官夫人令孃其他青島、西伯利に出征せる陸海軍將官貴衆兩院議長朝野紳士外務高等官等五百餘名相會し立食に移り續いて盛大なる舞踏會開かれ盛會を極めたり（東京特電）

私立學校經營難

續々閉鎖せん

騰貴は從來生徒減少せる各私立學校は其晚回策に腐心し居れるが就中尤も打擊の甚大なるは宗教的學校にして今次騷擾の禍源が多く是等に在りたるより社會の指彈を受くるこ共に漸次醒せる父兄に在りても子弟の將來に就き慮かる所あり續々退學轉校せしむるより維持困難こなり自然閉鎖廢校の餘儀なきに至るべきもの多く私立學校教師も又轉職轉校する者あり現に故新學校鮮人教師二名は學校の前途を早知し實業に轉じ貞信女學校内地人女教師二名も他に轉校し鎖めに廢校するに至るならんこ傳へらる

第三回婦人見學團は天氣の都合により八日に延期す

日本銀行の衞兵廢止

日本銀行はわが國唯一の中央銀行こして常に幾億萬の地金及び金貨を收蔵しあり明治十五年の設立以來特に東京衞戍總督より毎日十二名宛の衞兵を派遣し日夜嚴重に警護せしめつゝありしが同行にある大金庫は幾度か改善を加へ今日にては安全の保障を得らるゝに至り最早警護の必要なきに至り既に大隈內閣の當時一度衞兵の廢止を請願せしも遂に許可せられず今日に及びしが今回總裁井上準之助氏は陸軍當局こ打合せの上大藏省に之れを申請したる結果いよ〳〵許可され一日より四十年來行はれたる此十二名の衞兵を全廢し代ふるに請願巡査六名を以てすることなれり

外人宣教師

全州に集まる

内地及び朝鮮在住の外人宣教師は毎年夏季を期し大會を催し傳道に就いて打合せをなるが本年は全北全州に於て大會を開催する事こなり最近内地及び全鮮各地より多數の外人宣教師全州に入り込み來り其の數四五十名に達せりこ云ふ、時節柄外人の多數集會はいたく世人の注目を惹き居れり尚ほ來年は全南光州に於て開催する由

始球は道長官

兩記者團の野球戰

釜山に於る京城、釜山の兩記者團チイムの野球戰は六日大正公園に行はる當日は滯釜中の佐々木慶南道長官始球式を行ふ筈なり（釜山特電）

拳銃で咽喉を撃つ

釜山の自殺未遂

四日午後七時頃釜山龍頭山裏手にて突然一發の銃聲聞ねたるより附近住民即刻馳け附け見るに一人の男が血塗れこなりて打ち倒れ藻掻き居れるより大に驚き其の筋に急報し警官醫師等現場に出張應急手當を施したる上附近久保病院に入院せしめたるが此の男は門司市精龍町大下精松（二八）こて三日朝釜山入港聯絡船にて來釜し荒井旅館に宿泊四日午後五時頃酒を呷り飲みたる上友人を訪問するこて立出で其の儘前記場所に到り携へ居たる拳銃にて咽喉を撃ち自殺を企てたるもの原因は審かならざるも噂に依れば同人は長く青島に在り久々振りにて歸鄕したるも家内に面白からざる事情ありて家出し自暴自棄の結果斯る者を爲したるものゝ如し傷は幸ひ急所を外れ生命には別條無き模樣なり（釜山電話）

藥學校々友會

五日發會式を擧ぐ

私立朝鮮藥學校では五日午後一時から校友會發會式を擧行した定刻生徒來賓式場に入るや村田校主の開會の辭で式を始め會務の報告名譽會員、來賓の祝辭演說があつて講演會のデザートコースに入り來賓學生の講演があつた終つて茶菓談笑の中に閉會を告げたが當日の講演者中主なるものは

△朝鮮産やましそ中のサモール河合清逸△水道砂濾に於ける水質の良化樋下田謙次郎△朝鮮產阿片の試驗田文雄△藤田藥業所に就いて池田健義△生藥學研究村田正太郎△ミツソ研究北原正人

中元贈答品

素晴しい景氣で賣れる

諸物價の騰貴で生活難の聲が高い一面に於て中元贈答品が素晴らしい勢ひで買ひ取られて行くのも奇な現象であるが市内各商店に就て調べて見るこ實際景氣が好い何處品物が一番好く賣れて行くかこ云ふに

座敷用こしては蓙及び花莚(?)座布團、四五圓から三十圓、蔀、瓦燈、二三圓から十圓、茶器二三圓から十圓、寐布團十二圓ぴ位、石鹸八九十錢から八圓、シャツ、肌著の二圓から十圓、香水七十錢から十圓、履物類は三四圓處が一番よく賣れて居るやうである

呉服物では白絹及び緋の瓦斯上布や明石上布の四五圓から七八圓、一寸上物では綿絽及紗の明羽織十三四圓から三十圓位が好く買ひ取られて行く、上品な方になるこ白無地の絽こか金紗及紗縮緬の三十圓から六七十圓處が好い、實用向では小兒服二三圓から十二三圓位のエプロン五六十錢から三圓

子供の著物がよく賣れる

山陽線一部

開通す　廣島已斐間

豪雨の爲不通こなりし山陽線中廣島己斐驛間は五日朝復舊開通せり（下關特電）

子供の一人旅

三日午後一時頃慶北浦項行きの輕便列車が河陽附近進行中年齡五六歲位の內地人女の子が只一人乘り居れるを乘務員が發見し調査したる處件の子供は太郎浦附近に住む大工ニヨシユキの子ヨシノリ（六）こいふもので慶州に行くものなりこ答へしとか一向要領を得ざるより取敢ず永川郡林浦に下車せしめ同地巡査駐在所に保護を依頼せり

上流家庭への贈物こしては銀器、銅器の十圓から二三百圓のがちよい〳〵賣れるらしい、而し本年は總てが昨年よりも騰くなつて居る關係に一般に品物より商品切手が喜ばれる模樣である、學生向こしては矢張組合せ文房具や書籍が一等らしい

不孝の天罰

釜山雜貨商桶谷吉藏長男（二〇）は親の金を持出して逃亡する等あり此程も亦復現金十四圓を騙取し京城迄の切符を求めしが途中新店附近に於いて殘金こ共に切符を竊取せられ無一物にて龍山に來り憲兵隊に保護を請ひ照會中の處五日釜山より伯父が出迎へに來りしを以て懇々說諭の上福吉に身柄を引渡したり

舊割引券引換

昨年發行の京管局京城仁川間割引回數券使用殘りは南大門驛に於て現金こ引換ることゝなれりこ

皮膚病專門　當院長川村恒夫來る　六日より十一日迄五日間　京城本町二丁目　清光館　出張毎日朝八時より三時迄診療　大阪市西區新町通一丁目　川村病院　電話長新町七六六

ホヤケ　あざ　そばかす、入墨、なます、たむし、くろ、わきが、でき、ぼ、きりきず、やけど等のひきつれ

お寺と教會　▲淨土宗日曜學校　六日午前九時より京城本町三丁目教院に於て「子供心」大町理事「主人思ひ」落合先生の御話あり晚八時半より新義州教會所主任吉田亮孝師法話あり▲淨土宗教會　六日午前十一時より京城觀音堂に於て「順逆一境」大町理事の講話あり▲日本基督教會（黃金町）日曜說教六日朝十一時より井口牧師（長谷川町）六日朝十時半より說教「眞の安心」龍澤牧師晚八時半より說教「基督の手悲」秋月牧師「人生の浮沈」▲メソヂスト教會（旭町）六日朝十時より「基督者の平和」秋月牧師・晚八時より「平和克服祝賀記念」中村牧師▲曹洞宗別院（若草町）午後二時より宿倉日曜學校

◎白神洋行油部新設　市內南大門外白神洋行京城支店に於ては今回吉野商會支店の營業諸油部を繼承し新に油部を設置し諸油の販賣をなす由

京日案內　番外

貸家　事務所向十疊一六疊三　二疊二四疊半二坪所本町一元春の家跡

小使入用　內地人　電四九八番　大和軒

募集　應募者は來る十二日迄履歷書携帯出頭の事市內に確實なる保證人を要す　南大門通一朝鮮郵船會計調度課

▲集金外交員募集　府內ノ事情ニ通ジ外交ニ巧ナ者　希望者履歷携帯午前本人來談　長谷川町七六　京城殖產會

◎店員募集　希望者午後來店　新龍山電車終點前　龜屋雜貨商

女中入用　年齡十六七歲以上　家族小人數給料相當に支給す　市內竹添町二ノ一八四　野村

◎ほねつぎ　柔術道場　一切の治療御依頼に應ず　明治町

年金恩給　低利五ヶ年分迄即時御立替　京城永樂町貳丁目　利息前引無▲

貧血しんぞう病　江州屋本店　西本願寺表門下角

吉木釀造場　仁川　妙藥頒布一週分七〇錢　家傳

◎土地家屋賣却　蓬萊町附近約二百七十坪　持主　電一六六六

◎岐阜提灯　本場製品一個デモ卸直段デ願マス　京城南大門通三ノ九二セイカン　中外商事株式會社朝鮮出張所

外交員及集金人募集　男女但し集金人は市內に家族ある者に限る　京城南大門通五丁目上る　朝鮮及滿洲社

一町本京　大阪屋號　振替京城二五七三番　電話六四番二〇八六番

◎鮮譯國語大辭典　定價四三〇　送料三六　前田美宗要　小澤庄三郎校閲前間恭作著

（広告欄：少品集 定價一圓二十錢 送料二十錢 ……書目：ケーブル 少品集 …… 各書 價格省略）

最新刊　憧憬　定價一圓三十錢　送料八錢　杉島三著

名刺　京城長谷川町　中田曽成社　電話二一〇五番　振替京城四七六二

右ノ者六月二十日ヲ以テ解雇仕リ候間弊店トハ何等ノ關係無之候ニ付此段廣告候也
大正八年七月五日　京城旭町一丁目
食品組運送部　店主　西山ユキ
解雇廣告　大塚宗夫

朝日平吉
右之者先月來入社致居候處都合に依り今回退社致候に付自今本社こ關係無之此段謹告致候
朝鮮及滿洲社

（御注文の節は手付金二割御送付を乞ふ）
茶、白、黑ズツクス短靴　一足貳圓八拾錢
卸貨一打以上一割引　三圓
船來キツト皮ボツクス皮　八圓五十錢
學生靴　六圓
ゴム底付は各一圓上げ　四圓五十錢
（均一）
大阪戎橋南詰西　高見靴店　電話南五一二七　振替大阪三六二二

質　倉庫完全　若草町三金井醫院裏　麻生質店

仁川宮町　舶來雜貨商　明治屋　電話八二四番

祝平和克復　仁川驛前　內國通運會社　仁川支店　電話五五八・二一八番

株式會社　共益社　仁川支店　電話四三〇番　張錫祐

仁川客主組合

仁川醫師會
仁川新町（電話一五六番）　井上病院
仁川本町（電話六七番）　井水醫院
仁川新町（電話四〇二番）　小倉病院
仁川仲町（電話七一九番）　高木病院
仁川濱町（電話七三四番）　鶴田醫院
仁川寺町（電話七〇四番）　久木田醫院
仁川宮町（電話三四五番）　松本病院
仁川本町（電話四二番）　淺井病院
仁川仲町（電話四〇九番）　佐藤病院
仁川新町（電話九一〇番）　菊地病院
仁川仲町（電話六六番）　壬生醫院
仁川山手町（電話一六番）　仁川病院

謹告
講和締結ト共ニ從來ノ營業方針ヲ一變シ平素ノ御高庇ニ酬ヒンカ爲メ仕上工場ヲ新設シ來七月一日ヨリ名義ヲ朝鮮工作所ト改メ諸機械設計製作鑄物一式其他鐵工一般ノ業務ヲ貢獻的御用命ニ應ジ可申候間相不變御引立ヲ希上候
中桐鑄工所改メ
朝鮮工作所　京城山町　電話長五二四番

追白私儀都合ニ依リ自今下川岩吉ト改姓仕候ニ付併テ御披露申上候
中桐岩吉改メ
下川岩吉

貸船　漁獵　京城府龍山元町四丁目河岸　漢江遊船俱樂部　電話一〇番

營業科目　倉庫業　生命火災保險代理店　移出牛檢疫所御用
株式會社　朝鮮興業　釜山支店
釜山佐藤町　電話長三四一・一〇七四

祝平和克復

祝平和克復　釜山本町　高瀨合名會社支店　京城平壤群山水原

祝平和克復　株式會社　內國通運會社　釜山支店

祝平和克復　釜山港　大池回漕部　電話一六七七番

祝平和克復　銅鐵　新鑛　商　福田又　釜山支店　釜山本町三丁目　電話二〇二一番　振替京城一六九八番

祝平和克復　砂糖　麥粉　直輸入　商　合名會社　中島商店　釜山支店　釜山琴平町　電話六〇三番

併撲　鎭南浦興行中　相撲報社

みだれ咲き

第七十九回　島山碧波作　森田久畫

初江は父の口から龍雄を朝鮮へ遣つたと聴くと、一時は大いに驚きもしたが兎に角無事で居たのを知つて少からず喜んだのであつた。

『お父様……』

彼の女はまたしても老伯を父と呼んで、

『夫を伺ひまして本當に安心を致しました、實は龍雄の行方が不明になりましたので何の位心を痛めて居るか知れ無いので御座います』

『もし御婦人、俺は貴女の短氣な行爲を制止たが、父なぞと呼ばれる理由は無い、俺にも今も云つた通り十一人の娘があつたが、夫れは他家へ嫁入る時に、一旦嫁した以上は假令どのやうなことがあらうとも其の家を死所にするやうに申し渡してありますから』途中で逢ふやうなことがあつても父とは呼ばさぬのです、イヤサ可愛い娘ですから親と呼ばれると呼び度いのですが、云ふに云はれぬ事情があつて緣家を出て居るのですから俺は父でも無ければ娘とも云ひ度く無いのです、其の娘が聴いたならば定めし冷酷無情の父と思ふかも知れませんが、夫が世間への義理なんです』

老伯は斯う云ふのも漸くでモウ後の言葉が續かなかつたが。

『然し父の身では世間に氣を兼ねてゐるだけに反つて其の娘のことは寢た間も忘れんのじやが今も云ふ世間の義理が……』

『御尤もです、御尤もでございます、然し其娘さんも死ぬにも死なれぬ立場で苦しんで居らつしやるでせう、御緣家を出てしまふ位ですから云ふに云はれぬ事情のありましたことは判つて居りますが、其のお方も定めしお辛いのでせう』

『左様です、俺も其の娘に或る時機には死して實家の汚名を雪ぐやうに勸めようと思ひますが、今自害なぞをしては反つて殘る子供があらぬ汚名を被せられるばかりか本人も犬死になりますから、辛い邊を我慢して今暫く死を延ばさし度いのであります』

謎に似て謎で無い老伯爵の言葉には、言外の意味が籠つて居るのであつた、夫れと無く我身の輕擧を戒めて二子の爲めに今暫く此の世に長らへよと云ふ老伯の言葉は、親が子を思ふ愛の結晶であつた、然り温き血と涙の結晶であつた。

『よく判りました、私も恰度貴郎様のお言葉に似た境遇に泣く者でございますが、死なうとしたのは悪い料見で御座いました』

初江は久し振りに逢つた父の前に頭を下げると、伏目勝に面を上げた、暫く逢はぬ間に非常に年を老つた父、夫れも是れも自分の爲めからと思ふと、彼の女は再び父を仰ぎ見る事が出來ぬのであつた。

『熟く其處へ氣が付かれた、俺は他人のことながら嬉しい』

初江は暫く頭を垂れて父の前を去り得ずに居たが

『夫では是れで失禮致します貴郎様も御機嫌好う』

心を鬼にして父の前を立ち去らうとすると。

『御婦人々々』と、呼び留めた老伯は。

『もし斯んな物が落ちて居ましたぞ』と、云つて白絹のハンケチに包んだものを差し出した。

『イエ私のでは？』

『イヤ貴女が落したのじや、何處へ持つて行つても調法の物じや』

早くも夫れと察した初江は。

『アヽ有難うございます』

押し頂いた初江が、老伯の前を去り兼ねて居ると。

『可哀想の奴じや……苦勞をすると見えて痩せが目立つわ、執事の飛鳥井には萬事いひ含めてあるが、我れと我身を卑下して來ぬ心根が不憫じや……』

『と……父様……』

風が運んで來る父の言葉、夫を身に挾んだ初江が振り返つた時には、老伯は他家の墓地の間を縫うてトボ／＼南の出口へ歩みを運んで居た。

京城 朝鮮製藥合資會社
大蔘寶母散
金十五錢 金壹圓 金四十錢 金五圓

食養法の概則
石塚式の八則

飯は玄米飯が最もよいが長年の習慣もあること故、先づ無砂の七分搗か半搗米を食べること副食物は植物性のもの即ち大根、蓮根、人蔘、牛蒡、里芋、南瓜、蕪、慈姑、蒟蒻、豆腐などを鹽氣を強めに煮て食すること、野菜類は可成その皮を剝かずに調理すること味噌汁は毎朝必ず飲むこと但し甘味噌より辛味噌がよい魚類は海魚より川魚の方がよい海魚なれば赤身のものを避け白身のものを選び成るべく骨ごと食べる様になさいそして總て味噌で調理するがよい海草類は盛んにお食べなさい、昆布、ひじき、若布、あらめなど殊によい油氣のものを食べる時には必ず大根おろしを添へること、あぶらは動物性の脂肪より植物性のあぶらがよい漬物はすべて古漬がよく中にも澤庵漬、味噌漬、福神漬などがよい肉類は必ず野菜と共に煮合せて食べること但肉は食の味つけと心得て澤山食べてはいけません

松の實羊羹
朝鮮發賣元
名譽明治屋

日報俳壇

花 柘榴　京城 中村柴光

青き簿を繭零れたる大地かな
折々戻る明り障子や繭を煮る
太き手を繭に埋めて量りけり
水底に澄む足跡や青芒
雨の中を往き來す舟や青芒
蜘蛛の圍に至き星の夜空かな
蚊蟲の一つに速き流れかな
讀書子に日に燒け古りし籐哉
鮒へす魚の腹白し青芒
樹下の風雨意ありと知る浴衣哉
病み臥せる雨の離亭や花柘榴
葡萄葉の諸み帶び來ぬ雲の峰
囀ぎつゝ土搔く犬や雲の峰
藪伐つて明さまなる家や時鳥
裸人にうら寒き桐の葉風かな
雨のあと直ぐ乾く砂や栗の風
江を覗く銀杏大樹や時鳥
夕顔や座を掃く僧と炊ぐ僧

日報歌壇

霧の雨

○ 緒詩間紅夢島(京城)

霧雨の雫に濡れて一もとの庭の桐の葉やゝに萎ぐめる
桐の木のうれにとまりてこゝだくも雀はまはすまろき頭を
夕づけるさ庭べに咲く桐の木の花のうつろひ見ねてさぶしも
すゞろにも胸のそこひに浸き入るゆふべ淋しきアラランの唄
曠野なる灯の如くにもまこごさわが心に湧ける哀しみのいろ

○ 三宅 青思(仁川)

夕燒の名殘りの赤き空に染み一色くらき雲の色かな
何となく物の悲しき夜なりけり水田の蛙心誘ふも

○ 白 縫(京城)

大河の水面を越ゆてうつろなる身にしみ／＼と夏の風吹く
美しく空に綴ける夏の野な風軟かく吹き渡るなり
かたむきて岸山かげな走る汽車の音も淋き夏の罪かな

○ 環(全南)

うつさりさひな非子の花見てあれば花のいのちの悲しまれけり

人蔘羊羹
京城本町壹・電話 一四八〇番 一八七〇〇番
㋡ 津村兄弟商會

日報柳壇

剣花坊選

招魂社

松葉杖と來る九段阪　厄介坊
丁髷へ朝日が當る九段阪　同

△評。足の無い癈兵が其戰友を祭つてある社の前へ來て佇んだ感懷は面白くないとはいはないが、もうこれは厭はれてゐる、丁髷の大村銅像へ朝日がさした形はちよつと好い。

招魂社この邊にも櫻ちる　紫流

△評。ズツと昔の川柳をよむやうなこゝろもちがする。

戰友は散歩と來る招魂社　柳蛙

△評。その戰友の祭つてある社の公園へ……。

新刊紹介

▼活世界(岡部一太郎著) 中學一年程度の英語讀本にして英語の眞味を自發的に學生に咀嚼了解せしめん事を目的として夏期學校用教科書及び家庭用獨習書として編纂されたるもの、一切の語句を巻末に排列し單語成句の記憶に便せり(三十錢東京市牛込區白銀町二〇富英書院)

▼今日の世界(小林文學士著) 前書同様の目的を以て出刊されたるものにして本書は二年程度のものなり、内容は勇敢な一少年が伊香保より亞細亞大陸を經て歐米各國を旅遊し各地の奇景風俗人物を探つて世界今日の大勢を明らかにしたるもの、最近歐洲の動亂、偉人の史的事實、歐米人の日常生活、最近世界の實話等より材料を取て學生の興味を喚起するに努めたり(〇〇圓長)

▼果物採收荷造法(恩田式地兩氏著) 朝鮮に於ては晩近果樹栽培の業大に興り耕耘、肥培、剪定、病害驅除豫防法等講究せられて日一日隆盛の機運に向ひつゝあるは眞に喜ぶべしと雖も未だ終局の業務たる採取、貯藏、荷造、輸送販賣等の技術に至りては斯業の進運に伴はざるの憾あり、之れ群書に徴するも表題の技術の如きは僅かに其餘白に編述さるゝに過ぎず著者は之を頗ぶる遺憾とし斯業者の伴侶たらしむべく理論、實際の兩方面より斯術を研究し此度發表の運びに至りたるもの果樹栽培業者並びに果物業者の寶典たるべきを疑はず(菊版三七八頁二圓東京市日本橋區本町博文館)

▼富源西伯利(松井甚右衛門著) 今や歐洲大亂の終熄と共に武力的競爭の時代を承けて經濟的競爭に入らんとす而して西伯利は將に開かれんとする經濟的競爭場たり、而は鑛業に林業に農業に牧畜に將た漁業に一として投資開發に可ならざるなく而も此の天然の富源にして世界の經濟的競爭場たらんとする西伯利は我國と一衣帶水の彼岸にあり、是に於てか我國は宜しく對外的抱負を以て同地方の經濟狀態を知悉し其の富源を開發するは啻に善隣の義務たるのみならず同時にまた我對外發展を企圖する所以に外ならず、本書は即ち如上の目的に依り編述せられるものにして著者は背浦商會社員として實際に多大の經驗を有し調査細を極め研究徹に入り法例地圖統計等を添へたり(二圓東京市赤坂氷川町日露俱樂部)

△私は某銀行へ勤務して居る廿二歳の青年ですが平和な中流以上の御家庭で家族的に[illegible]して下さる御方は御座いませんか(木公生)△『日韓研究會趣意書』を見て何等感慨を興さないものは性格淵の人である、然るに『一承[illegible]』氏の言は求道の眞情の見えて有難い、但所謂『君主』を形而下に誤解せられて居るのではなからうか、それは日本人の心臓を統御する大精神の意味である、詳しいことは此欄では盡くし難い、我研究會に[illegible]可いから同氏の如き眞心ある人士の來會を切に希望する(一會員)、去る二十八日僕は或る停車場より乘車せんと待合に着したる折りもお物品倉庫出入口にて驛長が鮮驛夫を[illegible]するのみならず腕力を以て再々打叩き彼は恐縮して居るにも拘はらず最後に有合せの棍棒を持つて其背後を突く何たる慘酷なる[illegible]ある驛長ともあらう人物の行動とは思はれないたとへ過ちが有るとしても打ち叩くとは何事で待合の旅客は皆何事ならんと[illegible]

◇お惣菜

△南瓜と烏賊 南瓜をよく洗ひこれないで加減の大きさに切り、烏賊を生のまゝ切つたのと一緒に水を入れ火にかけその水を捨てずに南瓜の柔らかになつた時に砂糖と味淋と醬油で味をつけなさい、斯うすると烏賊は柔らかになりますし南瓜はまた大層味がよくなります、烏賊は南瓜の三分の一位の量でよいのです

肺結核
本劑は白血球の活力を旺盛ならしめ食慾を進め全身の營養を强くし咳嗽喀痰を鎮め便通を整へ解熱を防ぎ盜汗を治し病原を撲滅し胃腸を强くし病原的に治癒する優秀の新藥なり◎說明書進呈送二錢
肺炎カタル助膜炎呼吸器病特効 アンチツベール錠
藥學士 有効證明
山本醫學博士 井上醫學博士
發賣元 兵庫縣飾磨郡小田町 東條製藥所

◎廣告
蠶繭貿易大販賣
販賣期間(自七月十日 至八月十日)
咸南新興郡邑内
新興貿易商會

笹山章著
ウツボ屋書店發行
新案獨學 イロハ辭典付
鮮語自在
定價五十錢 (送料五錢)
ポケツト形二百頁
發賣元 京城日報代理部

桃谷研究試驗所創製
光榮ある御化粧料三十六種の内

白色美顔水

嬉しいと思召すこと四つ!!

學校へ御通學の御愛孃とも〲

餘所のお家を御訪問なさいふ場合、學校には御勉強でも未だお化粧の方には平生餘りお構ひのない方々は、中々お化粧が美しく出來兼ねます。これは顔の地肌がお化粧馴れしてゐないからで、全く無理のない事ですが、然ういふ場合に白色美顔水をお用ゐになれば、誠に勞なくすら〲と、美しい、品のよいお化粧が出來ます。それから

汽車の時間等が迫つて大急ぎと

いふ様な時、または御主人が外から御歸宅になると其儘、一さあ直ぐ一緒に出かけよう。と洋服も脱がずに仰仕る様な場合、其他何にしても斯うしたお急ぎの時などには得てお化粧も變な工合になり度がるものですが、そこを白色美顔水を一寸お用ゐになりますと、狼狽る必要もなく、直ぐに充分美しい整つたお化粧が出來るのです。次に

吹出物やにきび
また顔色の工合

で、何う骨を折つて見てもお化粧が思はしくなく、斑になり又變な色澤になり、濃く附ければ又白ペンキの様で、如何しても工合が悪いといふ様な場合、白色美顔水でお化粧をなされば、これは又何の苦もなく、すら〲と行渡つて、誠に自然生れつきの色白かと見違へるばかり、すつきりと、高尚な美しい〲お化粧ぶりを發揮しますのです。それから又

肌理の荒い方
脂の多過ぎる方

これは丁度反對の方々ではありますが、お化粧が美く出來ぬ事は一緒であります。此方々は白色美顔水を常用なされば、毎も氣持よく勞なく美しいお化粧が出來るといふお喜びに加へて、肌理は次第に滑かに美しくなり、素顔の美しさを添へると一方脂の多い方は、其爲めに出易い吹出物なども出なくなるといふ一寸反對した兩方によい成分を、此化粧料に含んでゐる事が判然分ります。されば こそ白色美顔水は

あらゆる御家庭の必要品として

ます〲人氣を集めてゐる次第であります。萬一にも未だの方は、早く此學者の創製したる新化粧料にて、從來のお化粧の缺點をお取去りなさる様お薦めします。

(定價一瓶金廿五錢=各化粧品小間物店にあり)

光榮ある御化粧料三十六種を創製したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
同 醫學士 米倉昌達
同 藥學士 小磯勝次郎
同 千葉藥學士 齋藤銳助
同 藥學士
顧問 藥學博士 丹波敬三氏
醫學博士 山本淳二氏

釜山第一金融組合概況

[illegible]がらにして貯金をなし得らる[illegible]適宜を計りつゝある結果は非常[illegible]を取るのみならず[illegible]
力せる[illegible]は勿論組合の利益よりも寧ろ組合員に便宜を供與す[illegible]
得中流階級以下に於ける唯一の金融機關なりとして營に歡迎せ[illegible]
組合員數 九九五人
貯蓄受払額 [illegible]五六〇二〇〇錢
合計 貸付金額 回收額 [illegible]
最大額として大豆の九十五萬七千七百五十八圓之れに亞ぐ[illegible]
として計六百二十七萬六千八百六十三圓の多額に[illegible]
が新に購入したる機關車五十四[illegible]
移出額を見たり而して本年度[illegible]貿易累計を見るに客月末迄に[illegible]
と比較すれば移出額に於て[illegible]